

別紙（参考資料）
報告書抜粋

令和4年7月11日
おおた健康プラン推進会議
資料3-1

大田区
令和3年度 人生100年を見据えた
健康寿命延伸プロジェクト事業業務委託
報告書

令和4年3月
東邦大学医学部

人生 100 年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト報告書に係る留意事項

区では、区民の皆様の健康課題や地域特性を 18 特別出張所地区ごとに分析し、科学的根拠に基づく政策立案を行い、課題の解決と健康寿命の延伸を目指すため、令和 2 年度から、「人生 100 年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」として東邦大学と共同研究を行っています。

今回お配りする資料は、令和 3 年度報告書から一部を抜粋したものです。

令和 3 年度は、行政情報のほか、区民の皆様にご協力をいただいた質問票調査の結果も含め、さまざまな項目を 18 地区別に集計し、生活習慣も含めた地区別の課題や特徴を捉えるひとつの情報となりました。

今後は、この情報を活用し、皆様がより健康に過ごしていただくための取組の検討を進めてまいります。

【留意事項】

集計表の数値については、必ずしも地区全体の特性を表していない可能性もあります。（たとえば、国民健康保険の医療費情報や健診情報については、国保の被保険者かつ受診した方の情報に限定されています。）

また、ここでみられる地域差は、あくまでも大田区内における相対的なものであり、区内で良好でない数値であっても、全国的に見れば良好な数値である可能性や、その逆もありえるという点に注意が必要です。

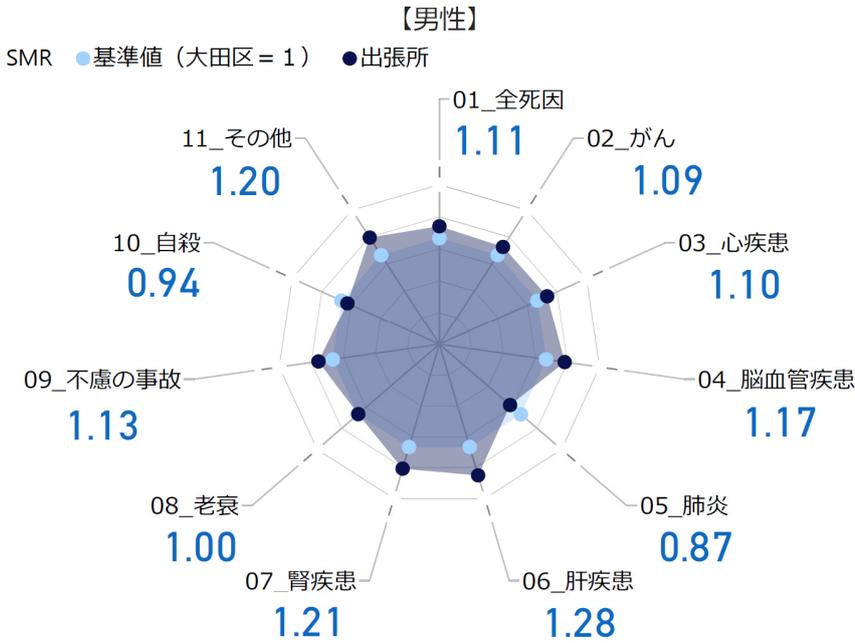
【問合せ先】

大田区健康政策部健康医療政策課
健康政策担当（計画）

電話 5744-1682

FAX 5744-1523

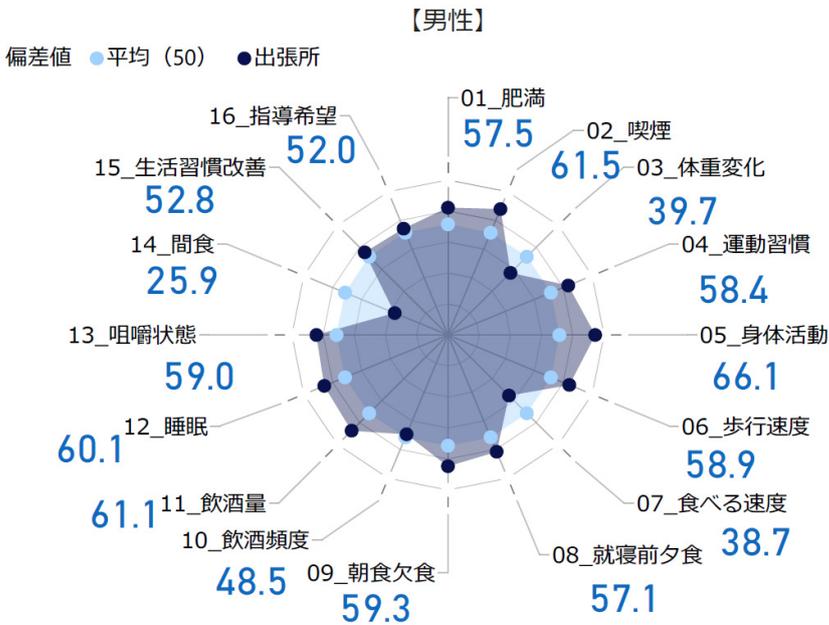
レーダーチャート①(SMR)の見方



指標
01 全死因
02 がん
03 心疾患
04 脳血管疾患
05 肺炎
06 肝疾患
07 腎疾患
08 老衰
09 不慮の事故
10 自殺
11 その他

- ・平成27年～令和2年の6年間の標準化死亡比(SMR)を使用。
- ・標準化死亡比(SMR):人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高い(逆に1より小さければ死亡率が低い=良好)ことを示します。

レーダーチャート②(特定健診結果)の見方



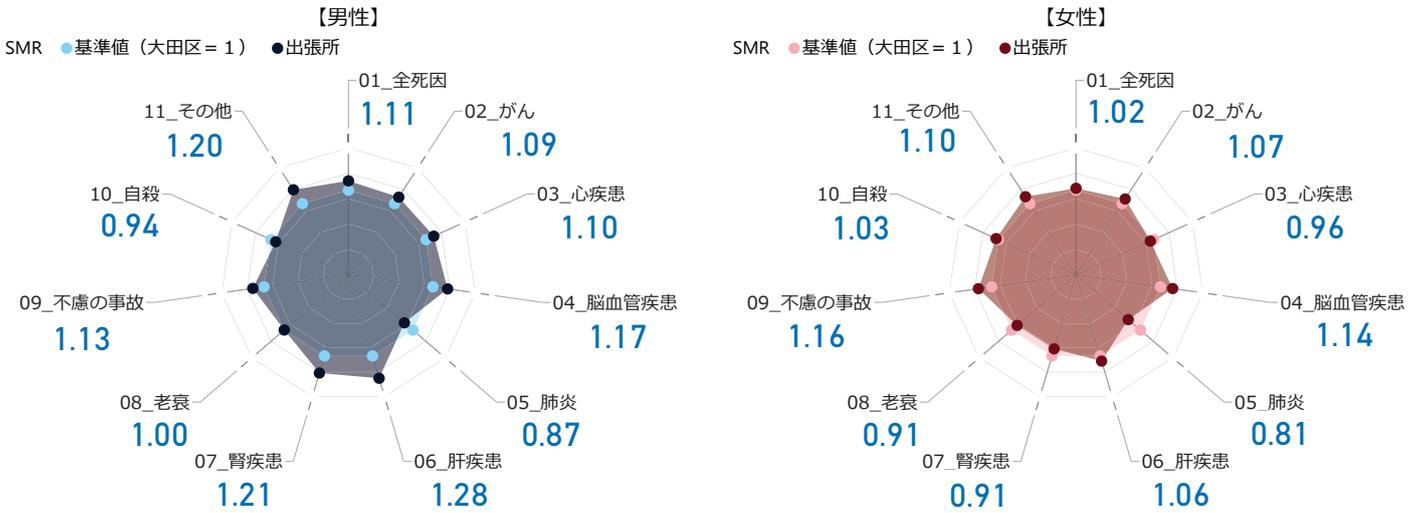
指標	割合の集計基準
01 肥満	BMIが25以上
02 喫煙	はい(吸っている)
03 20歳からの体重変化	はい(10kg以上増加)
04 30分以上の運動習慣	いいえ(週2回未満)
05 歩行又は身体活動	いいえ(1日1時間未満)
06 歩行速度	いいえ(同年代の同性より遅い)
07 食べる速度	速い
08 就寝前の夕食	はい(週3回以上)
09 朝食欠食	はい(週3回以上)
10 飲酒頻度	毎日
11 飲酒量	2合以上
12 睡眠	いいえ(睡眠で休養がとれていない)
13 咀嚼状態	かみにくい or ほとんどかめない
14 3食以外の間食	毎日
15 生活習慣改善の意思	改善するつもりはない
16 保健指導希望	いいえ

- ・令和2年度の間診等から抜粋した項目の割合(右記参照)について、それぞれ、18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した偏差値を表示してあります。
- ・偏差値が小さい=良好であることを表します(形が小さいほど良好な可能性)。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

01_大森西

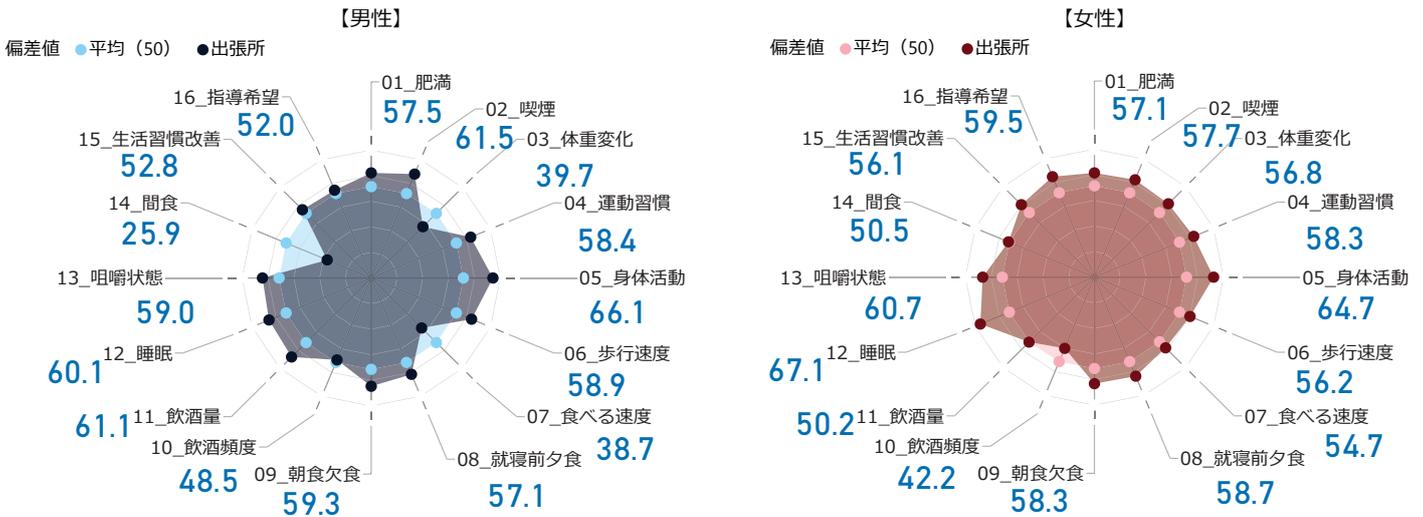


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

01_大森西

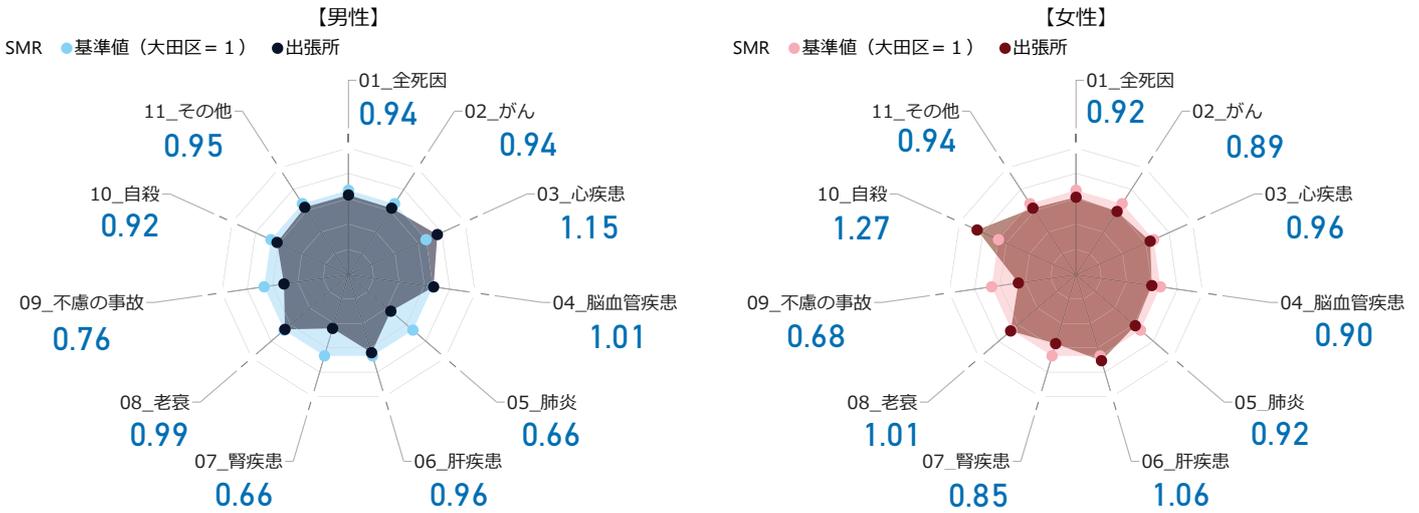


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

02_入新井

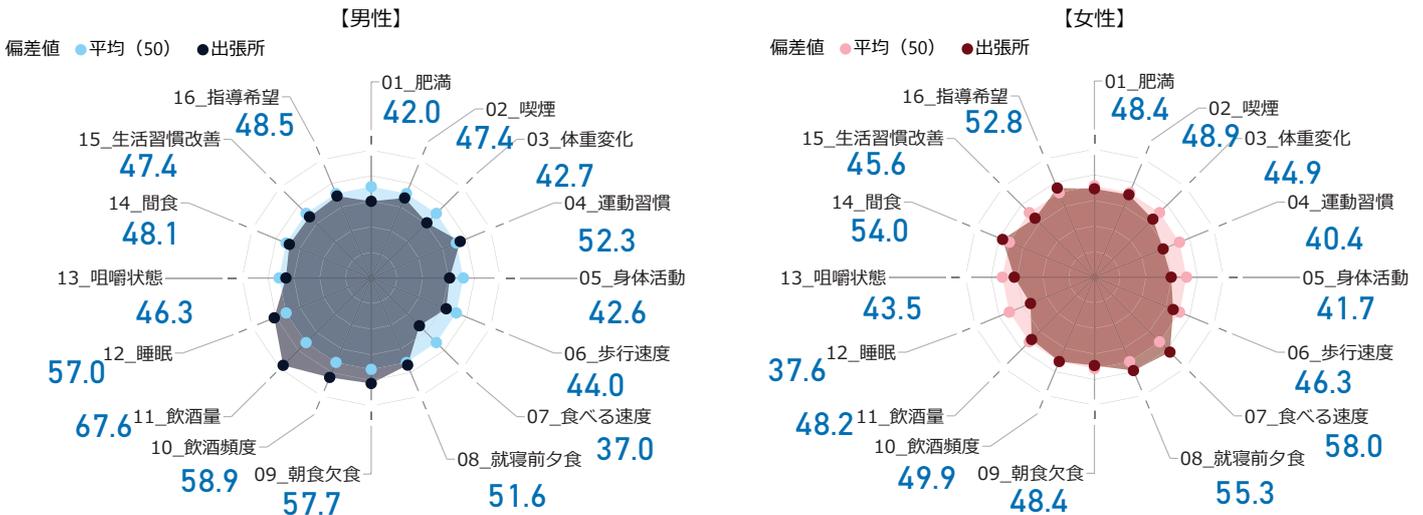


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

02_入新井

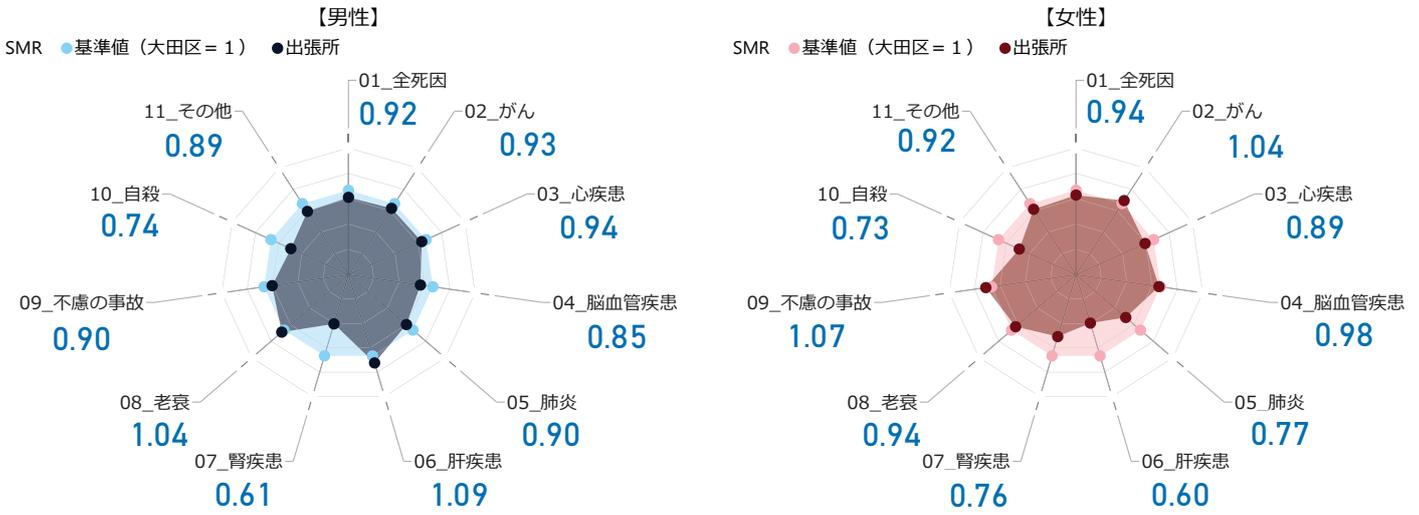


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

03_馬込

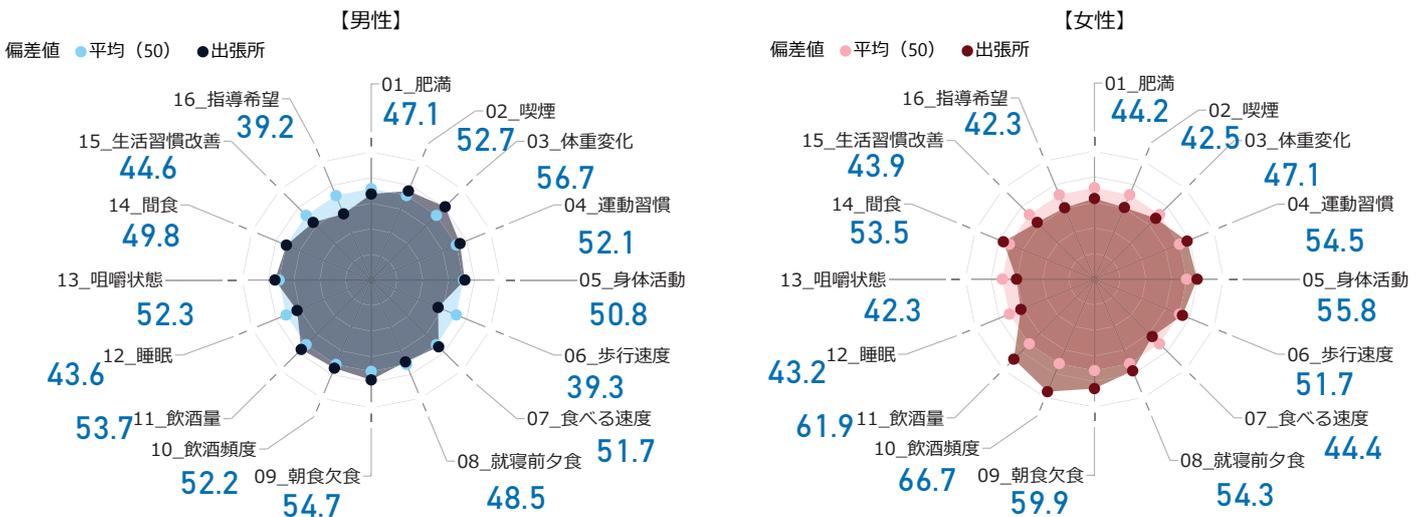


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

03_馬込

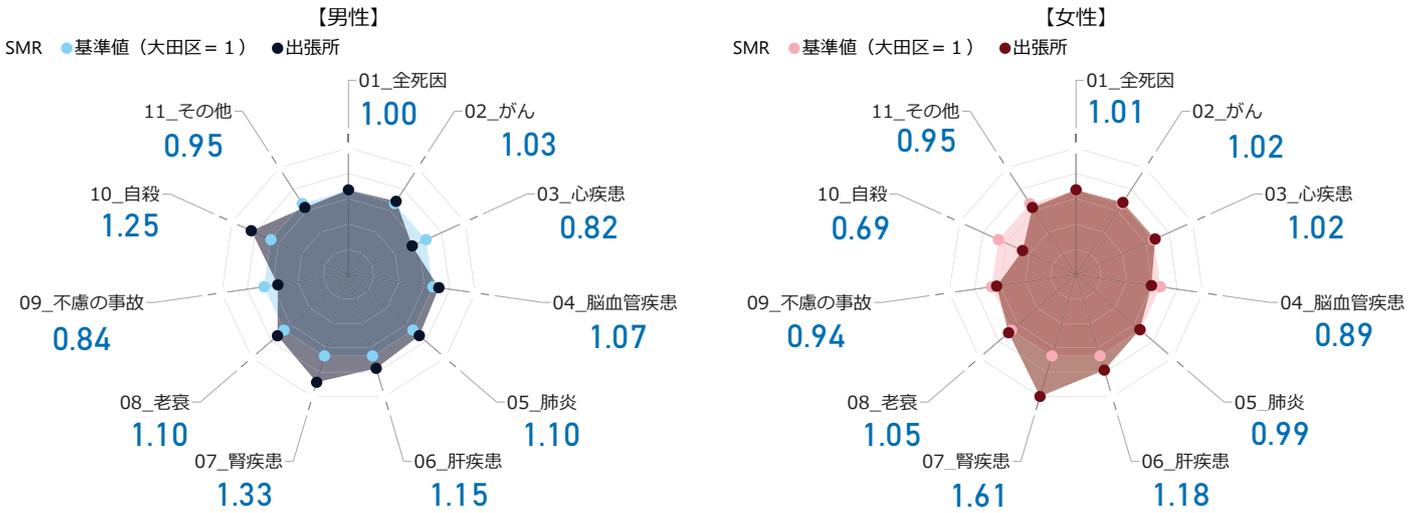


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

04_池上

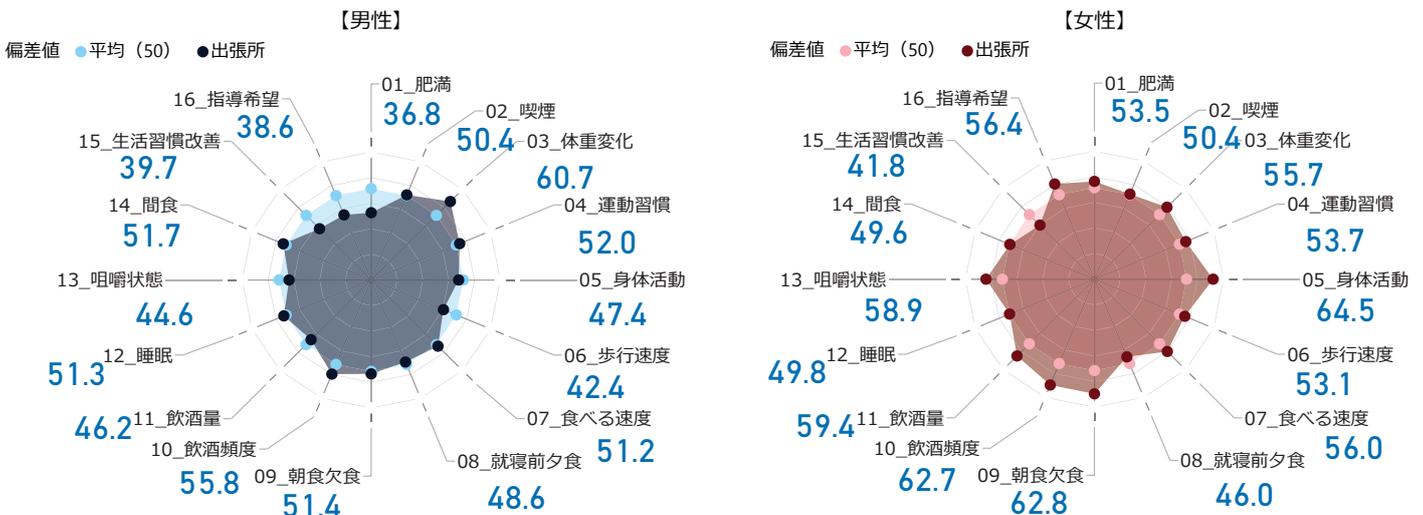


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

04_池上

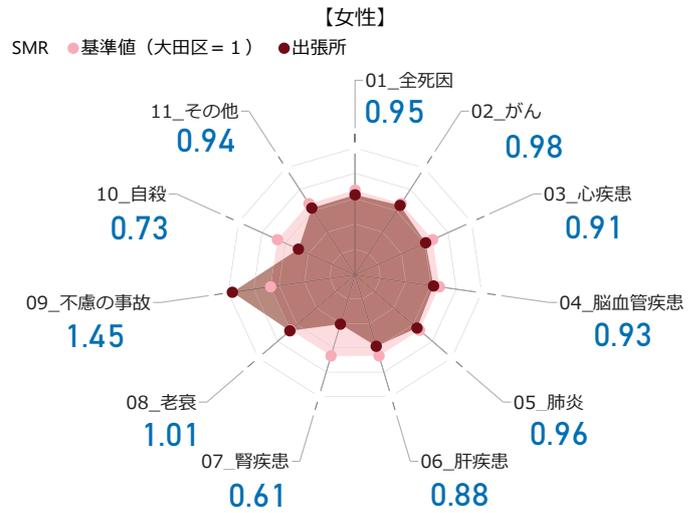
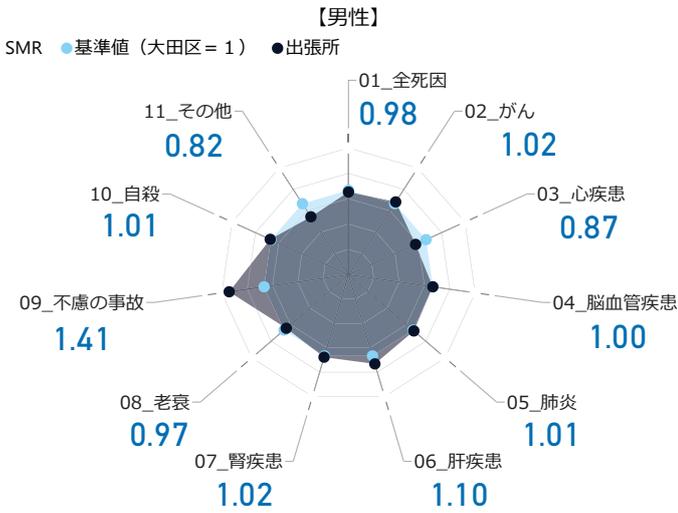


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

05_新井宿

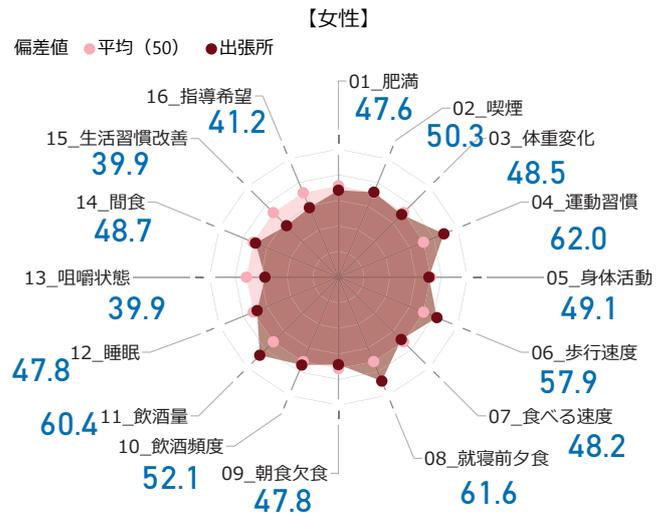
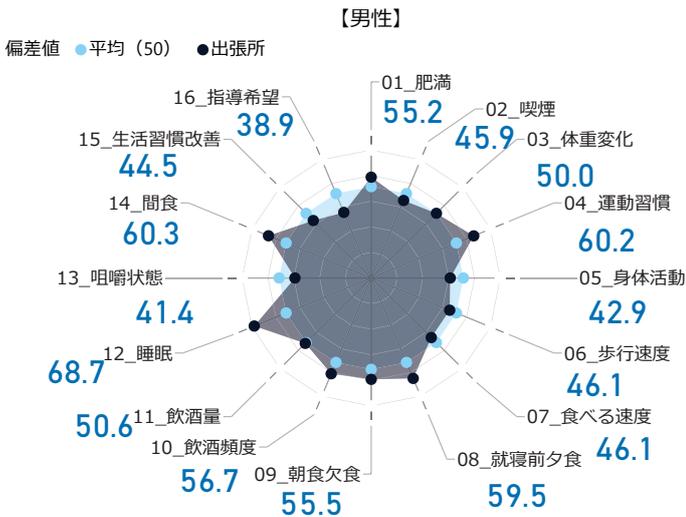


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

05_新井宿

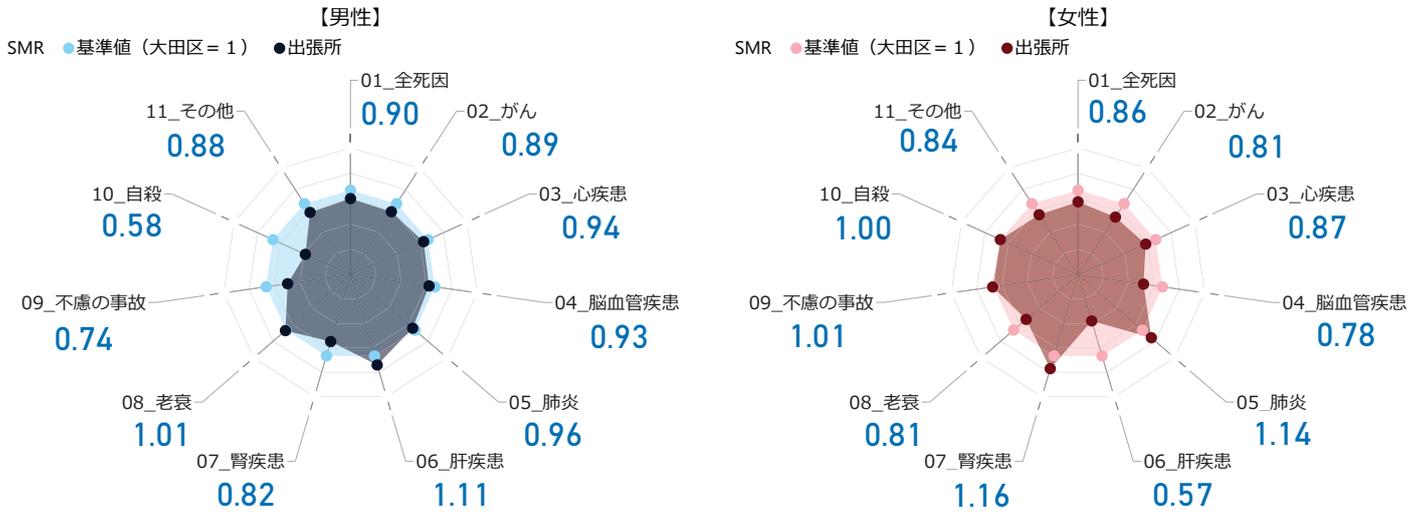


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

06_嶺町

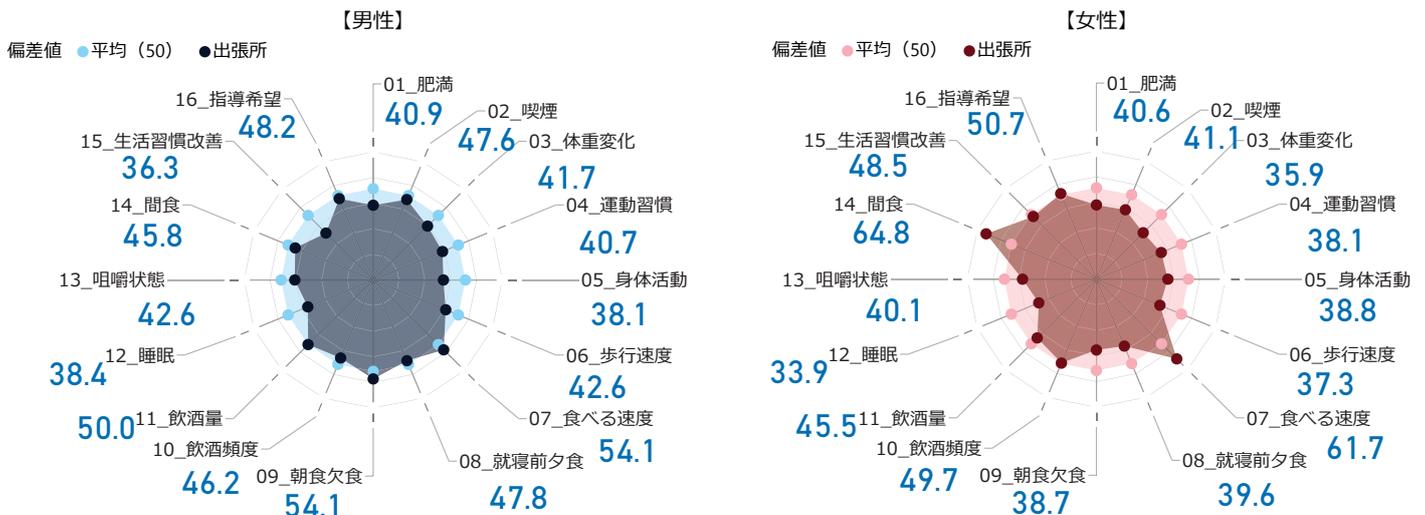


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

06_嶺町

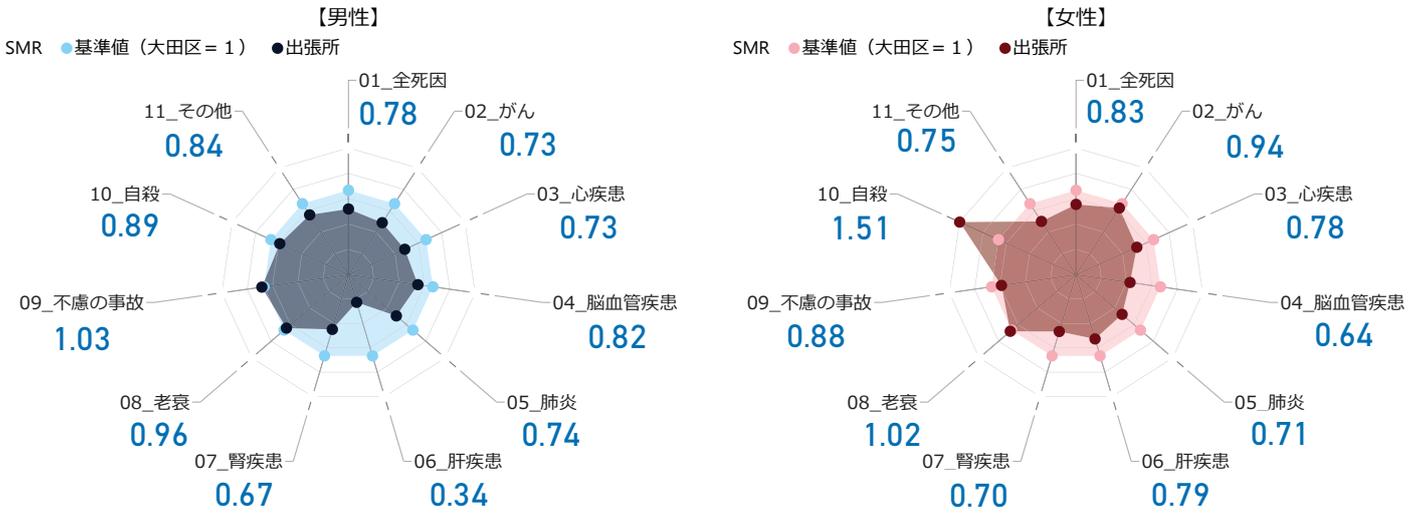


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

07_田園調布

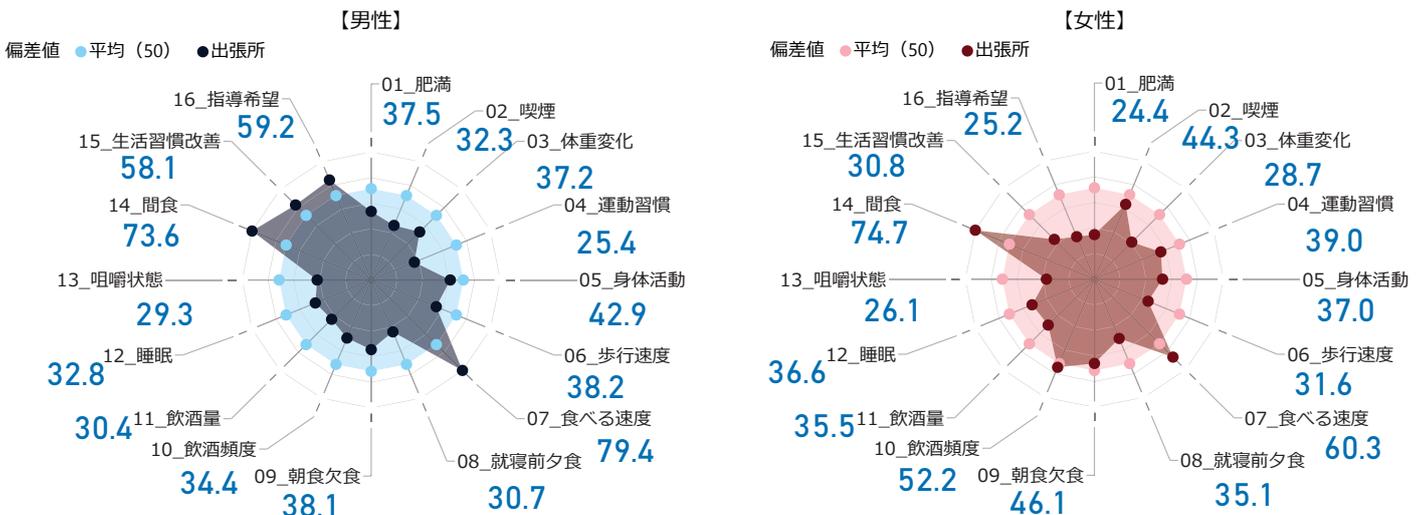


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

07_田園調布

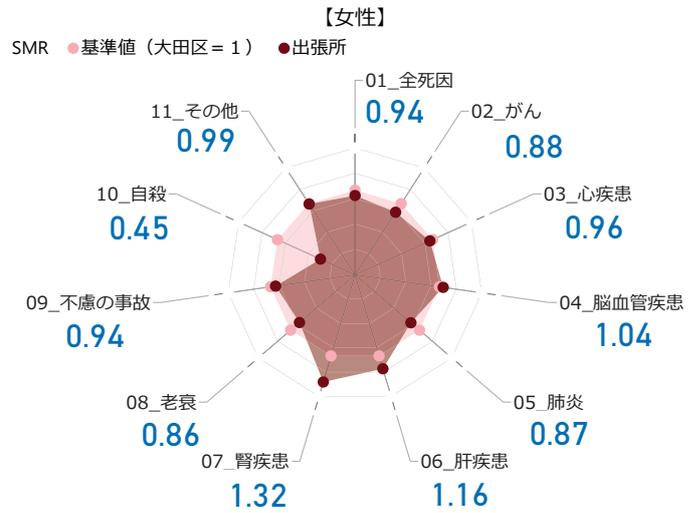
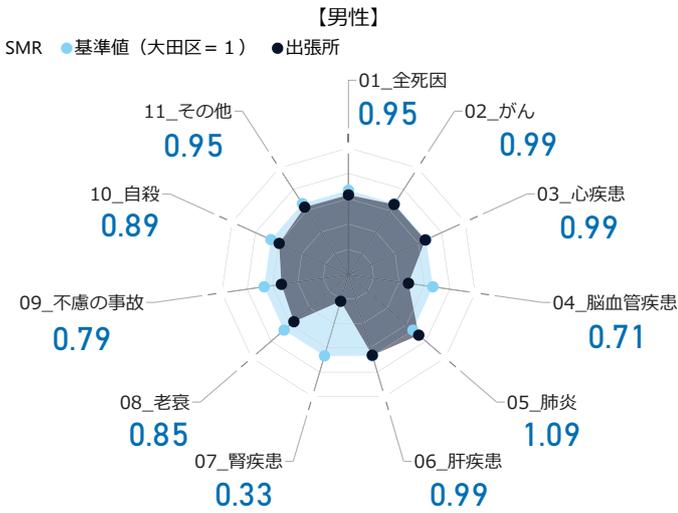


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

08_鶺の木

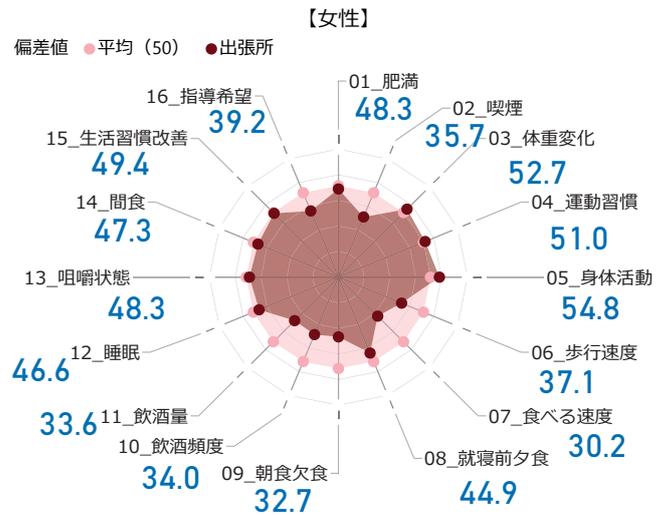
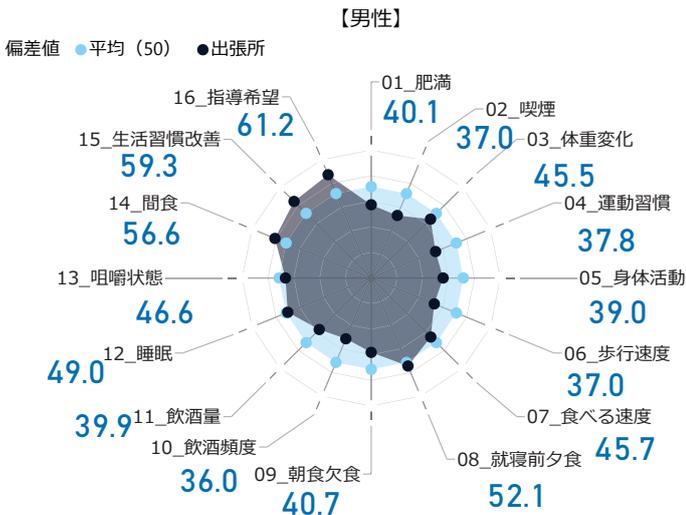


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

08_鶺の木

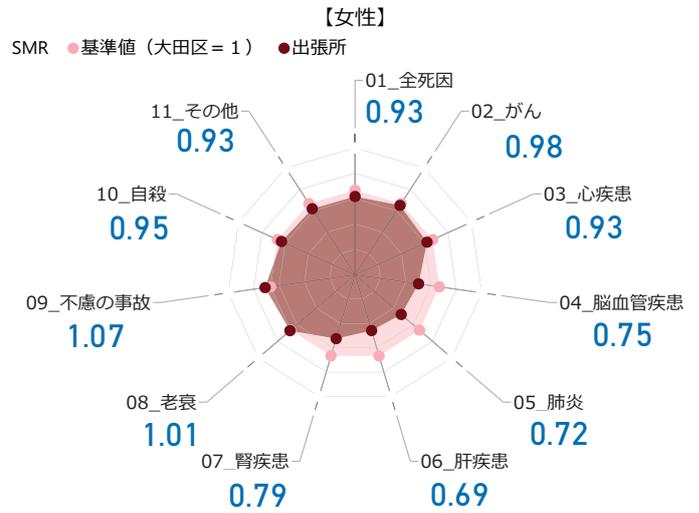
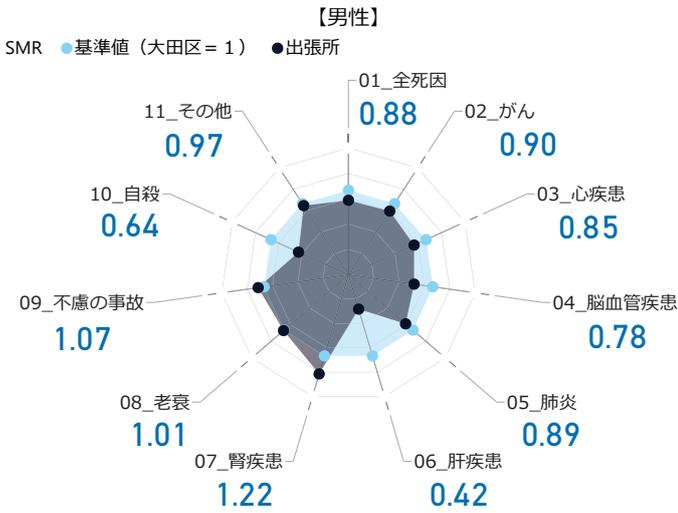


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

09_久が原

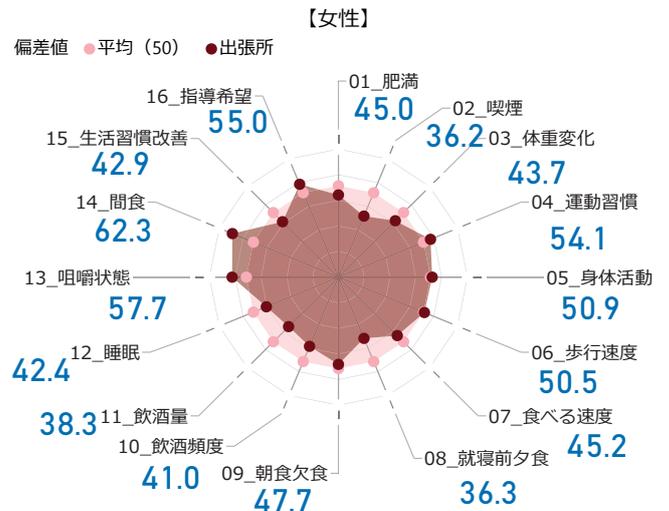
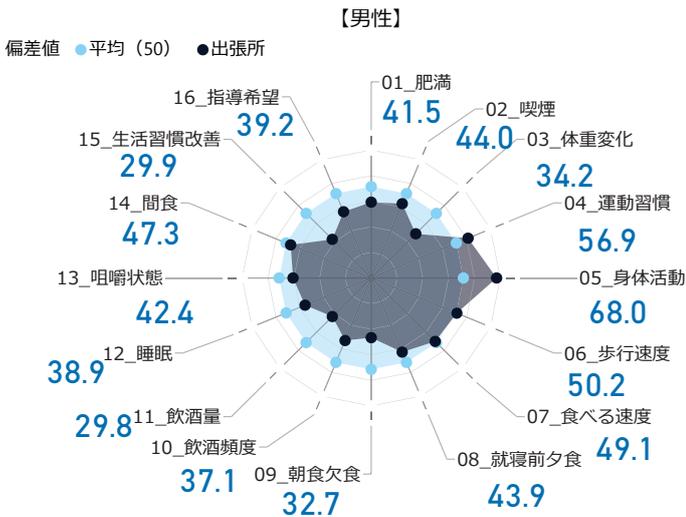


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

09_久が原

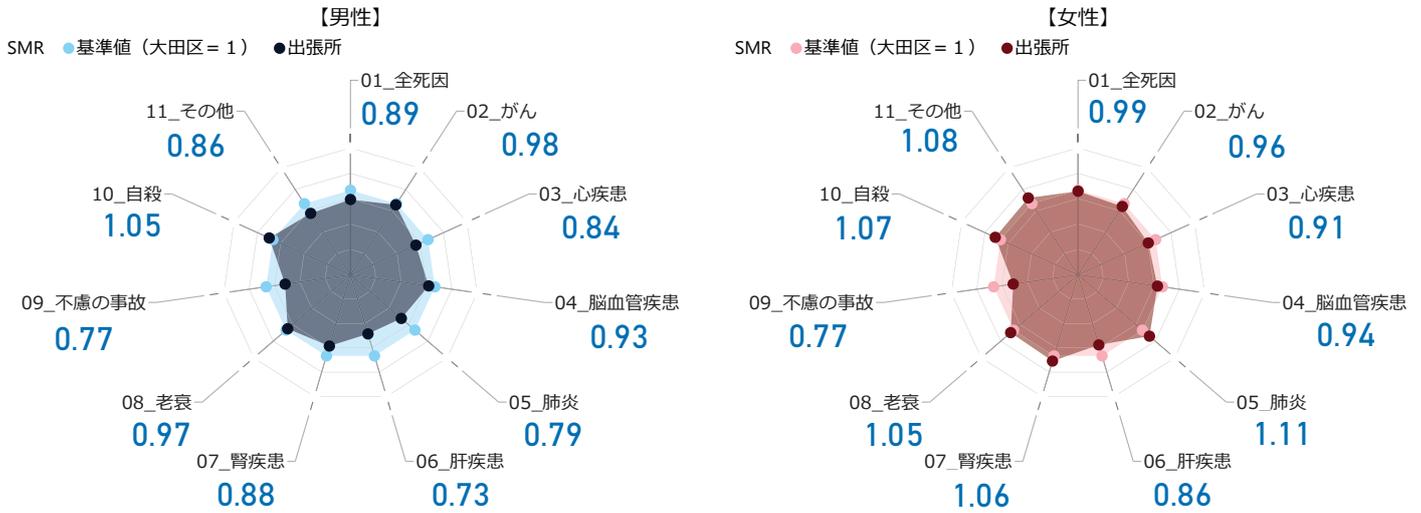


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

10_雪谷

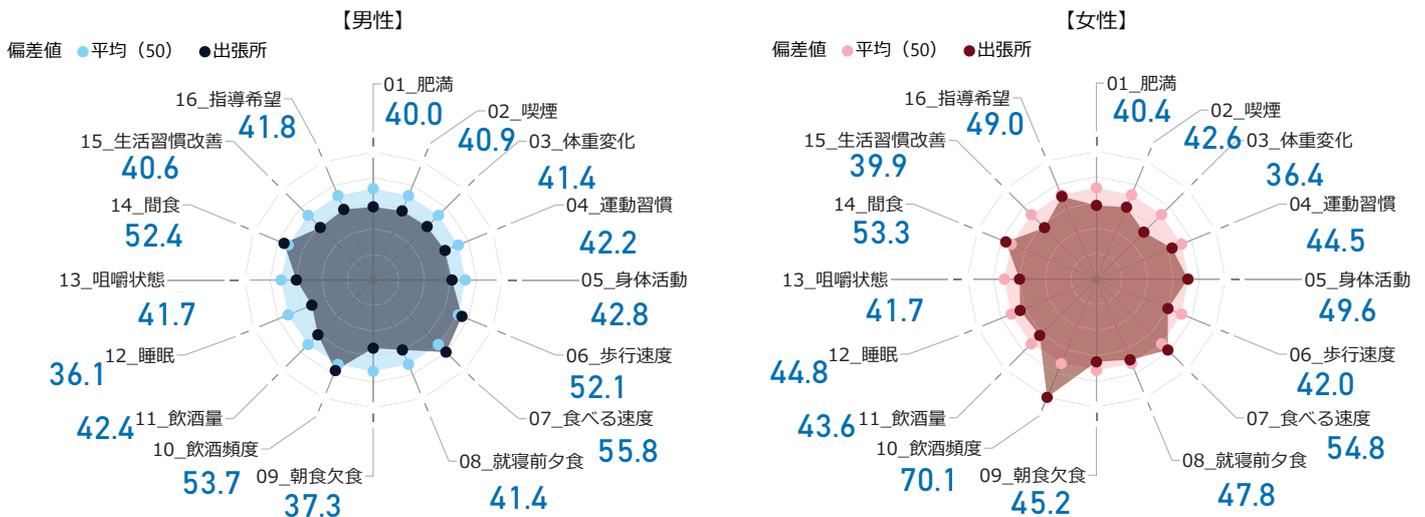


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

10_雪谷

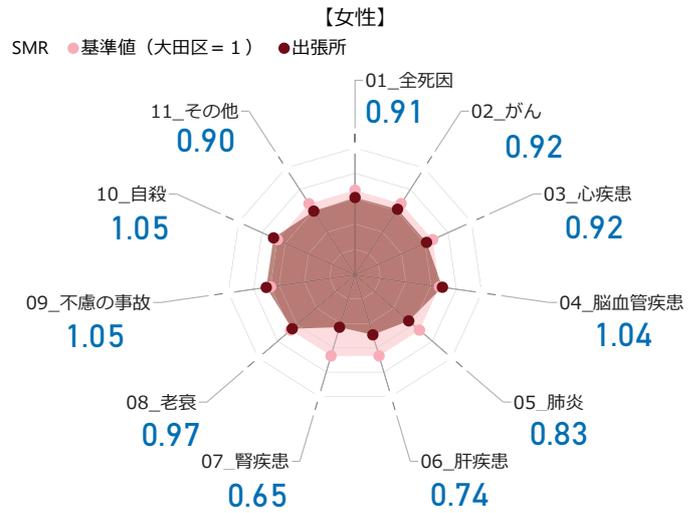
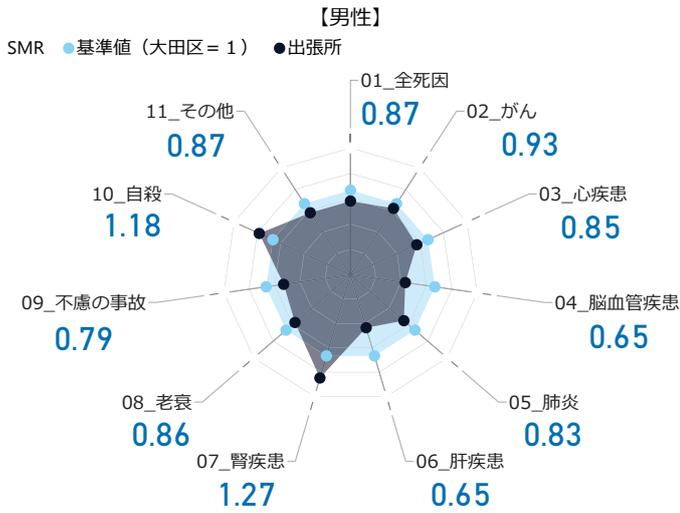


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

11_千束

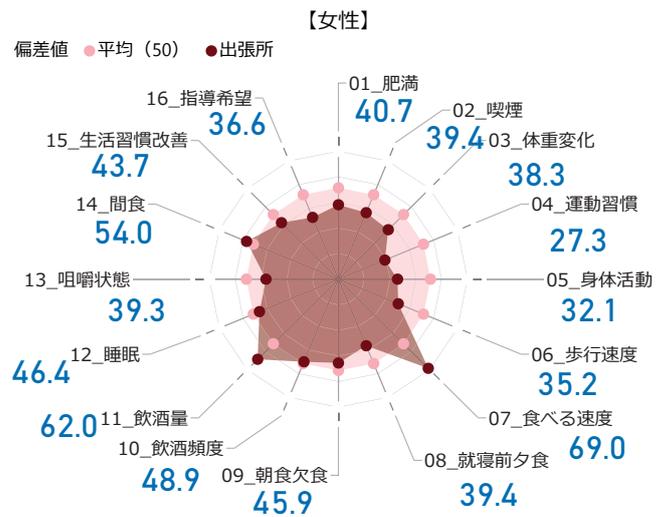
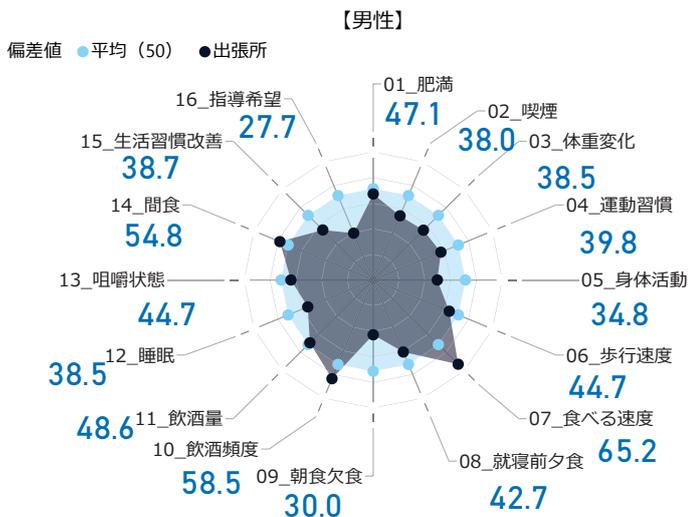


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

11_千束

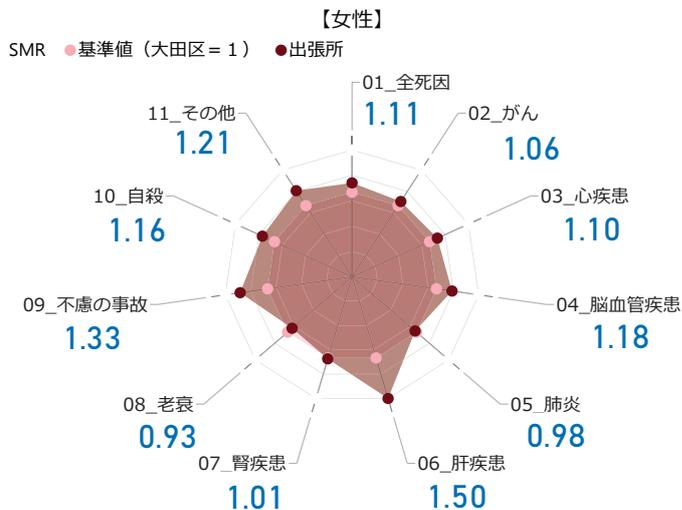
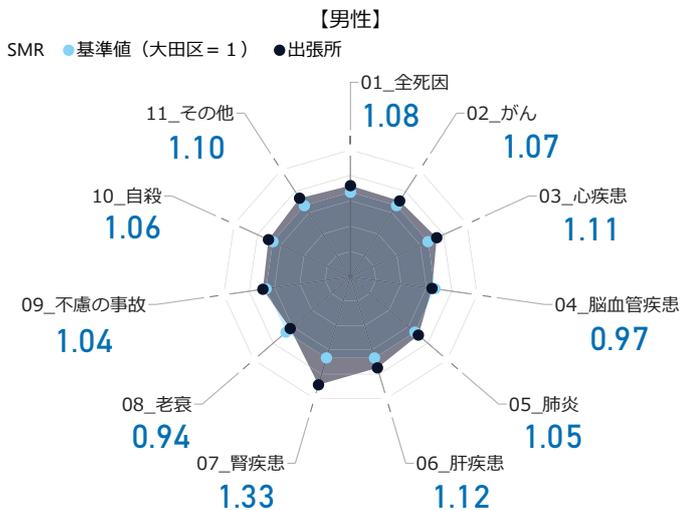


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

12_六郷

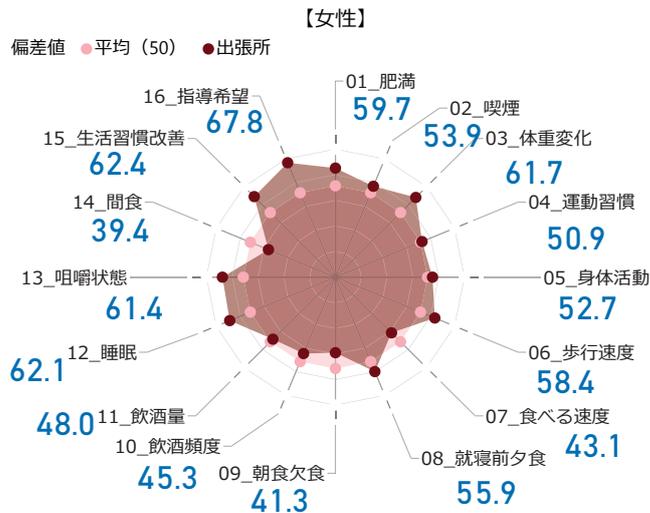
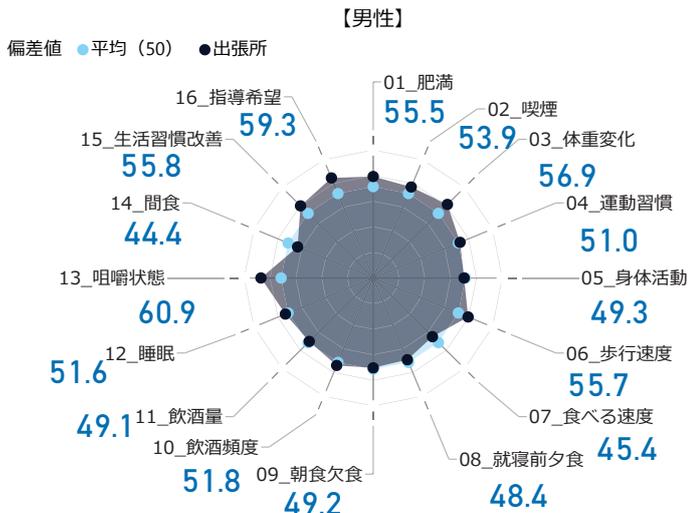


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

12_六郷

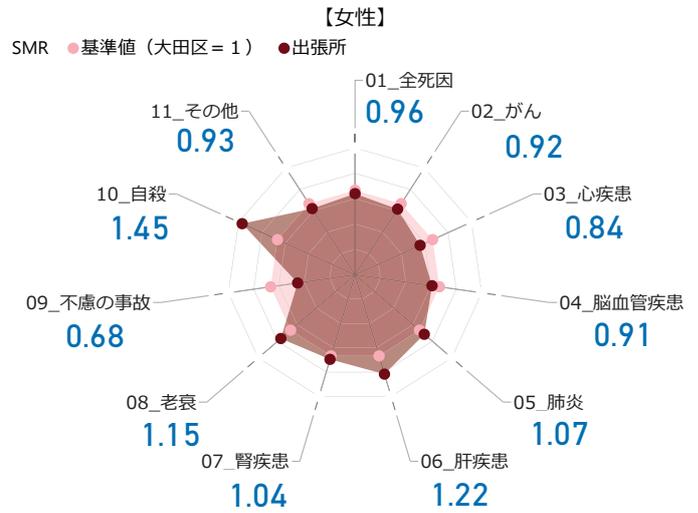
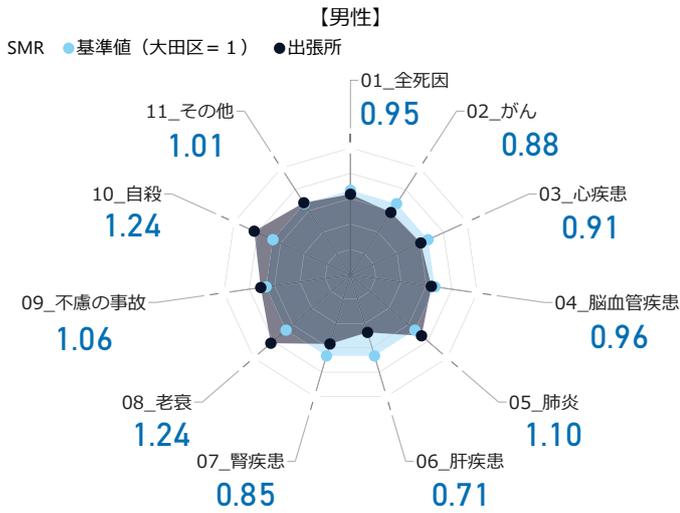


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

13_矢口

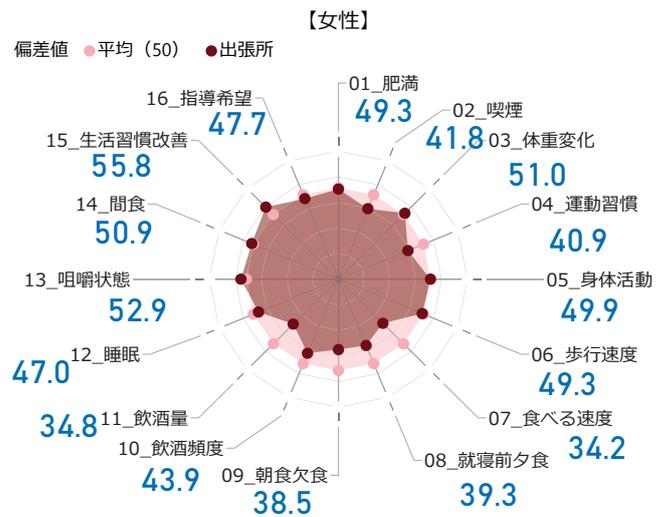
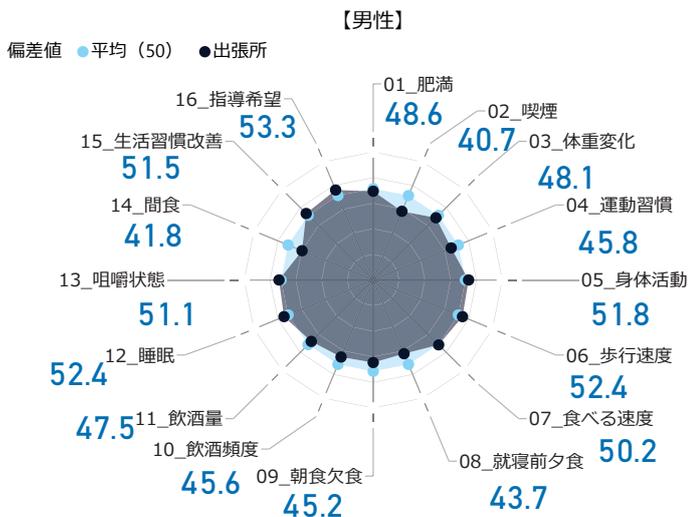


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

13_矢口

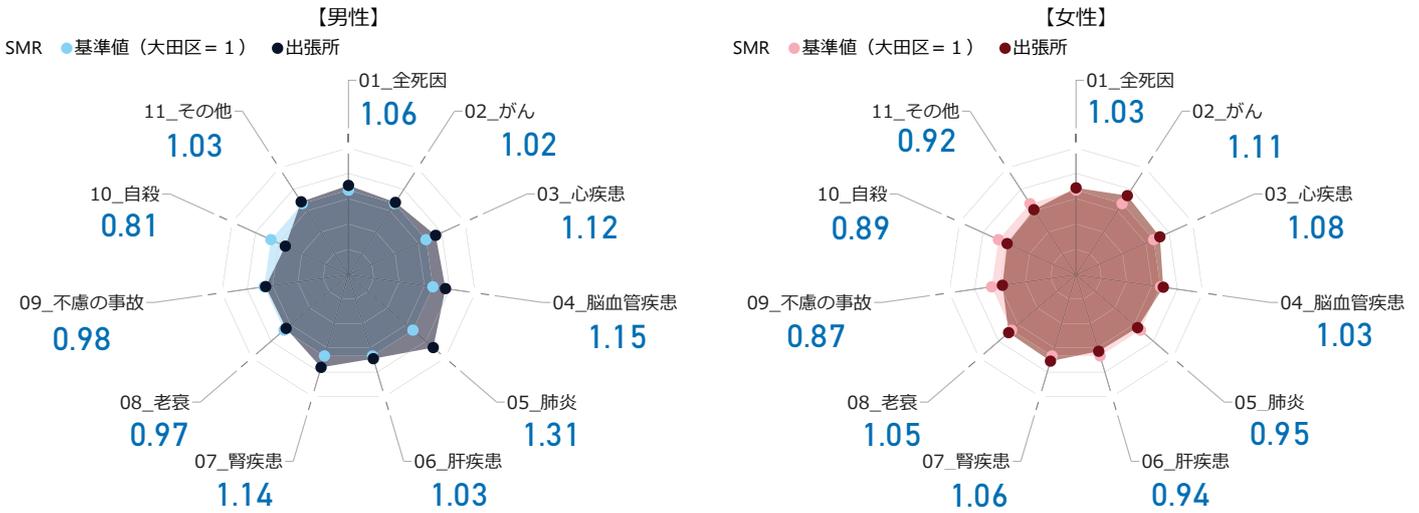


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

14_蒲田西

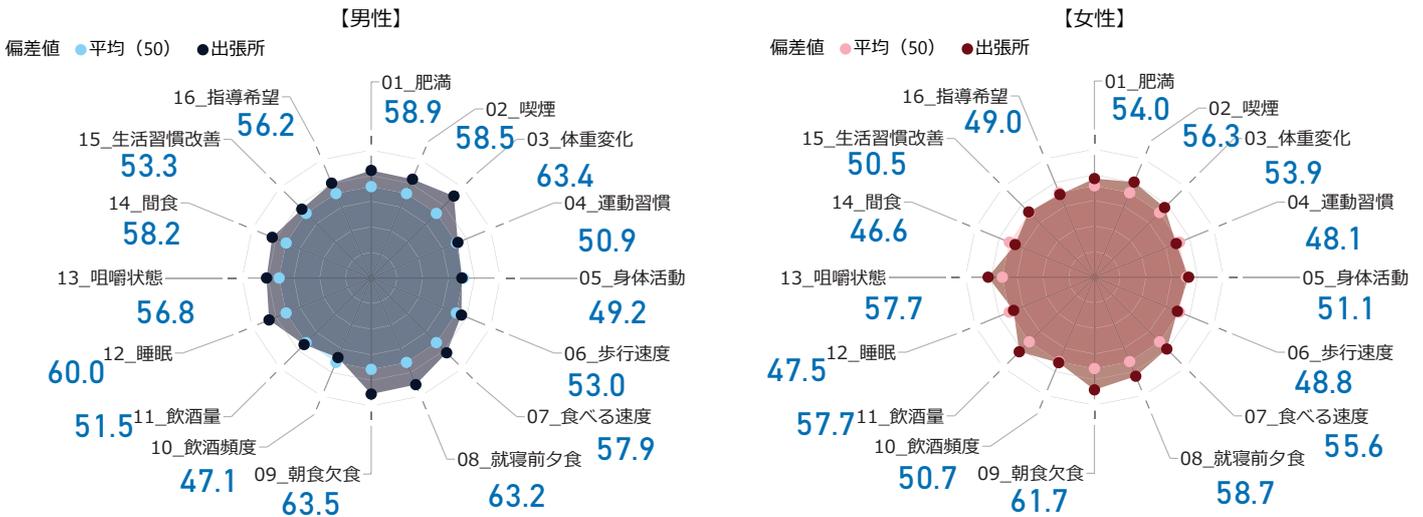


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば全区と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

14_蒲田西

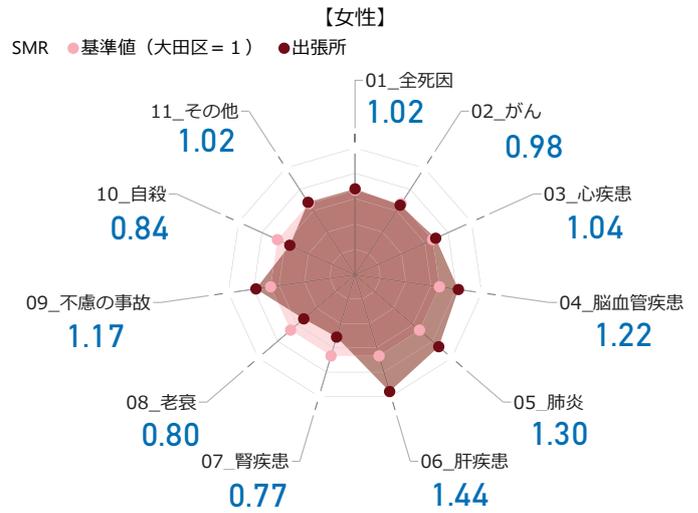
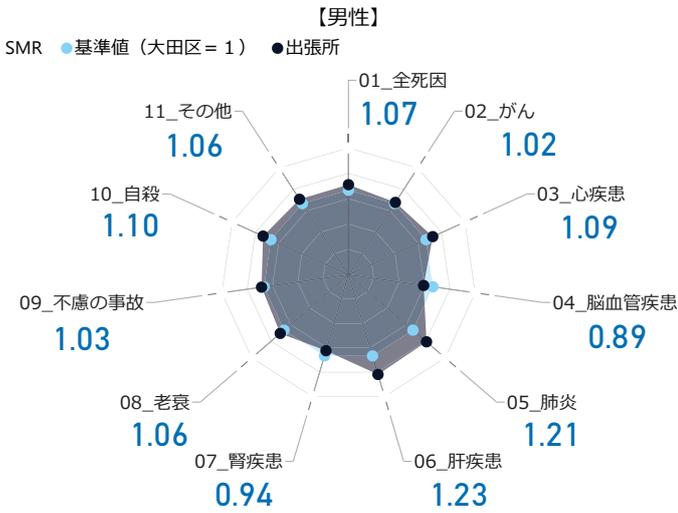


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

15_蒲田東

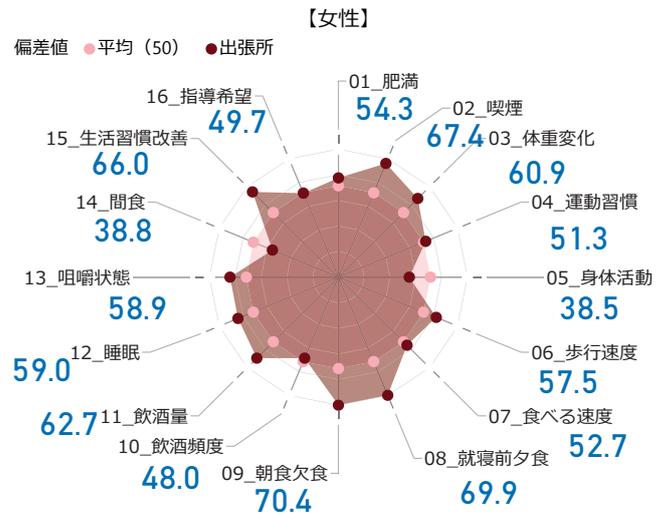
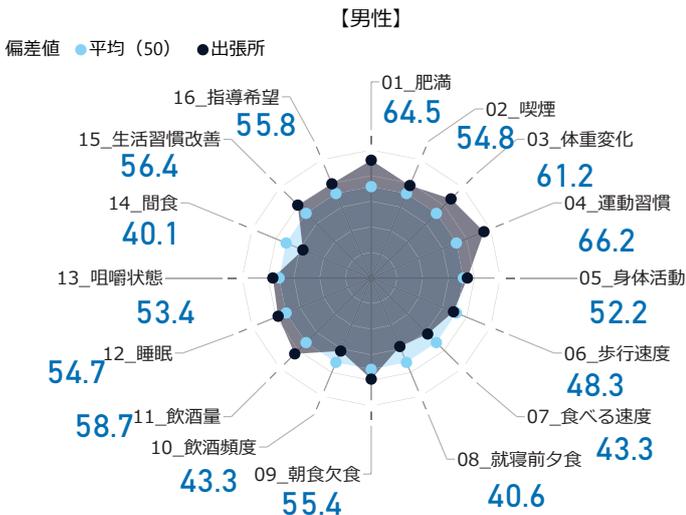


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

15_蒲田東

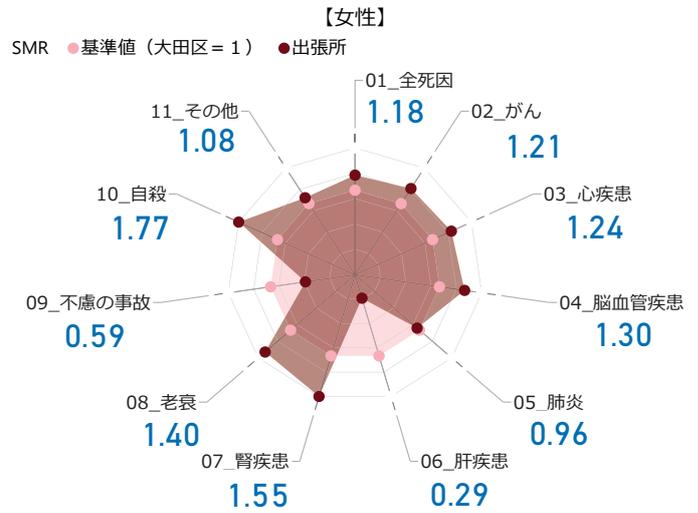
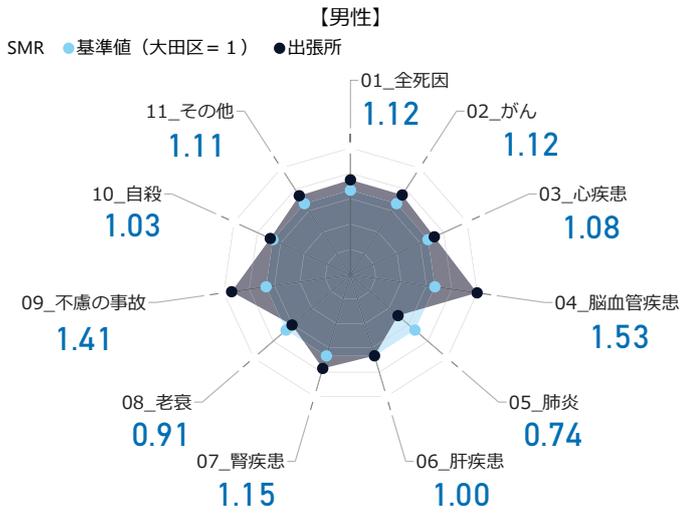


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

16_大森東

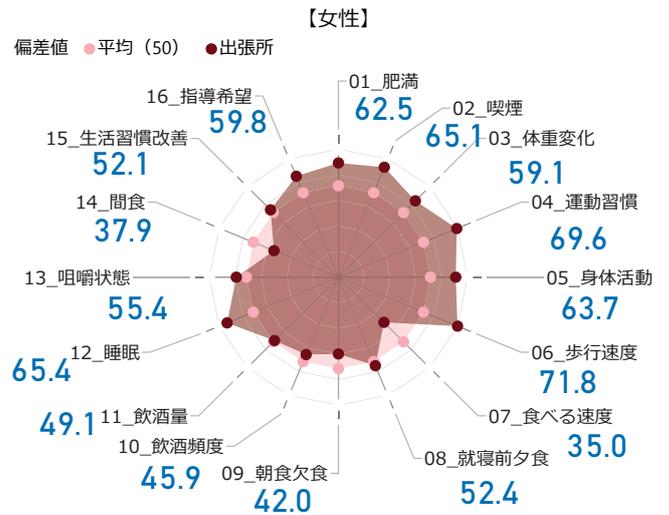
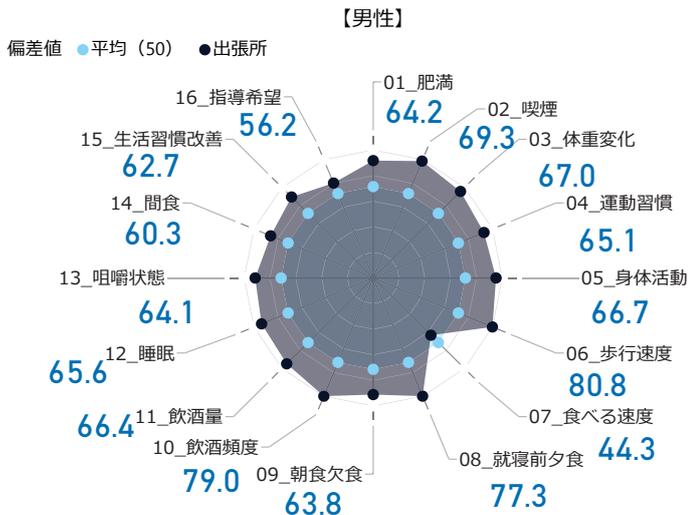


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

16_大森東

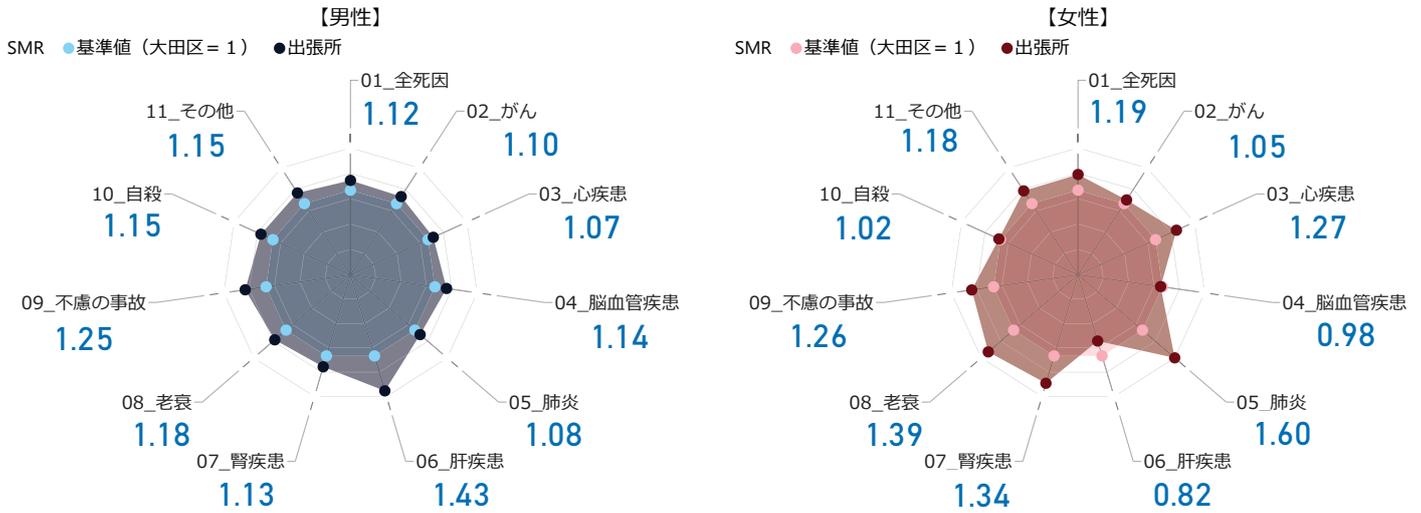


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

17_萩谷

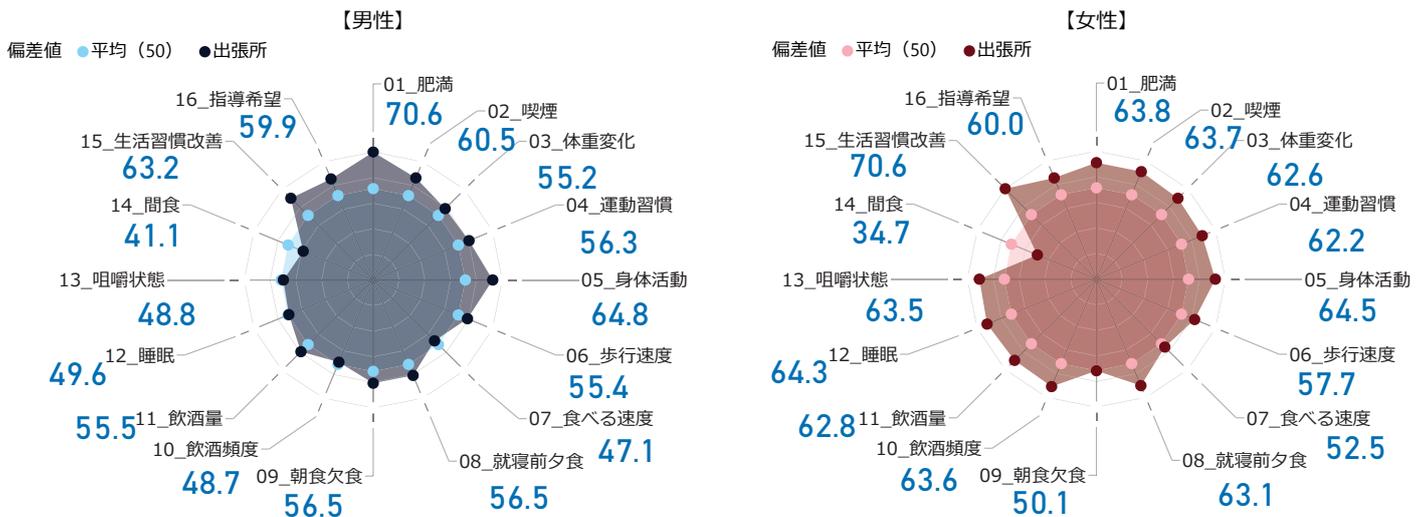


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば全区と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

17_萩谷

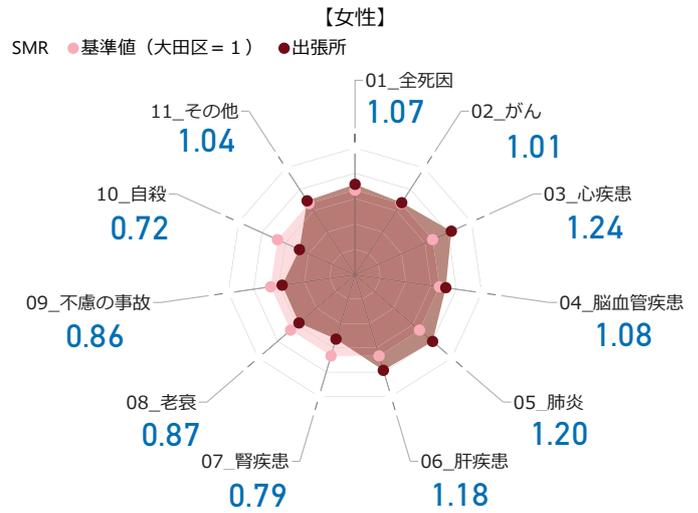
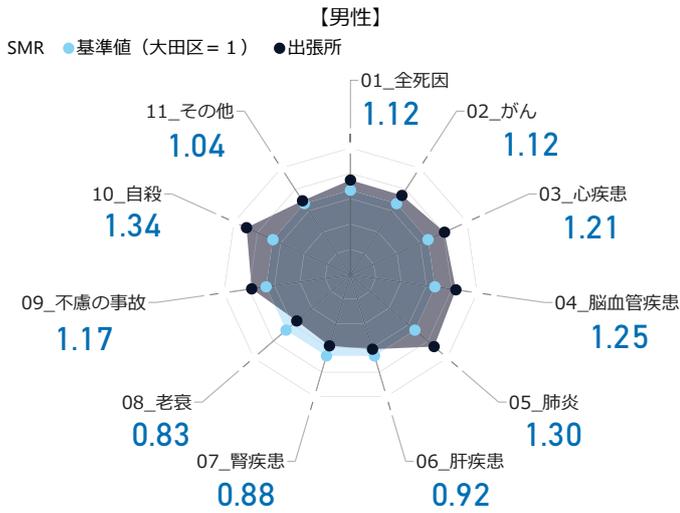


※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

死因別標準化死亡比（SMR） 主要死因

※平成27年～令和2年の6年間

18_羽田

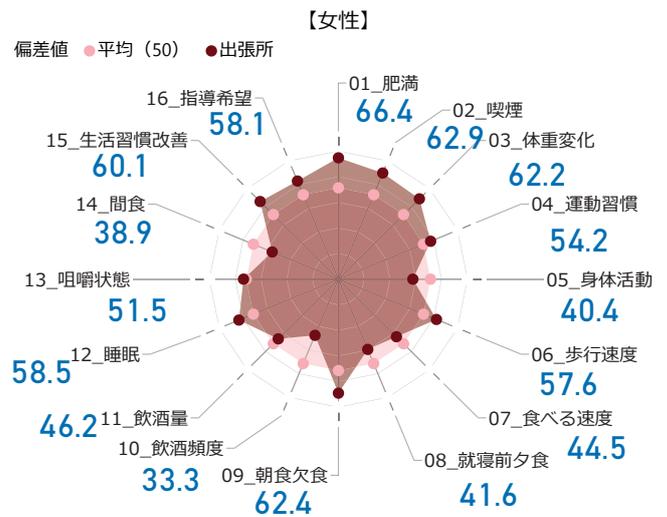
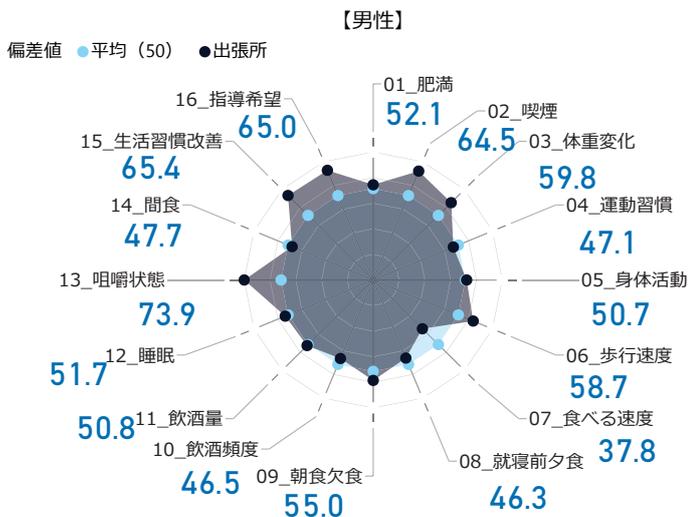


※標準化死亡比（SMR）：人口構成を考慮した死亡率の比。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は1.5としています（数値が1.5以上の場合でも、点の位置は1.5となります）。

国民健康保険 特定健診結果（問診等抜粋）

※令和2年度、40-74歳の被保険者

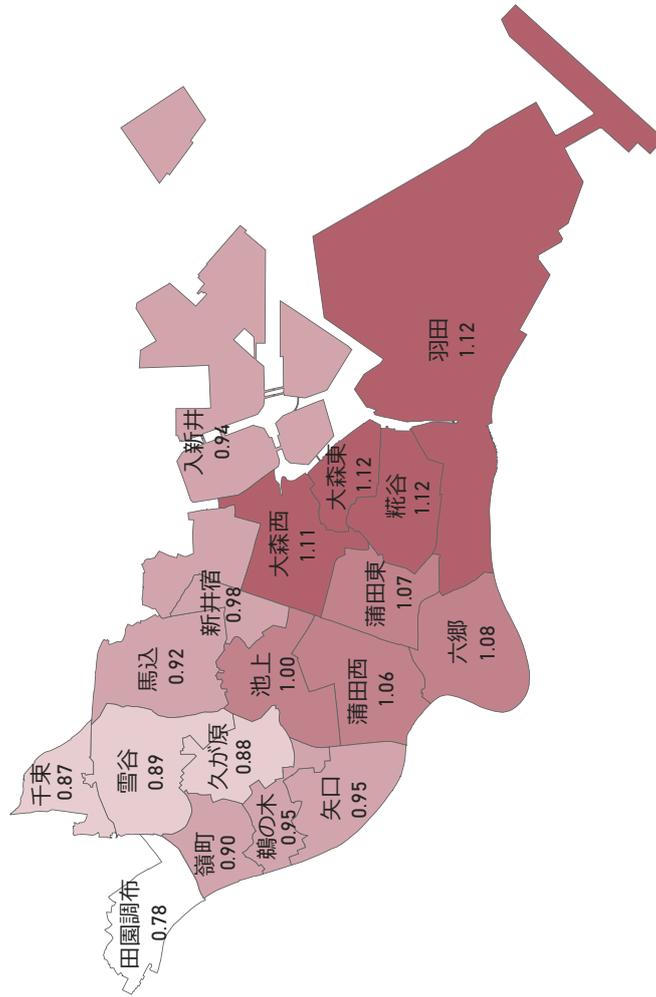
18_羽田



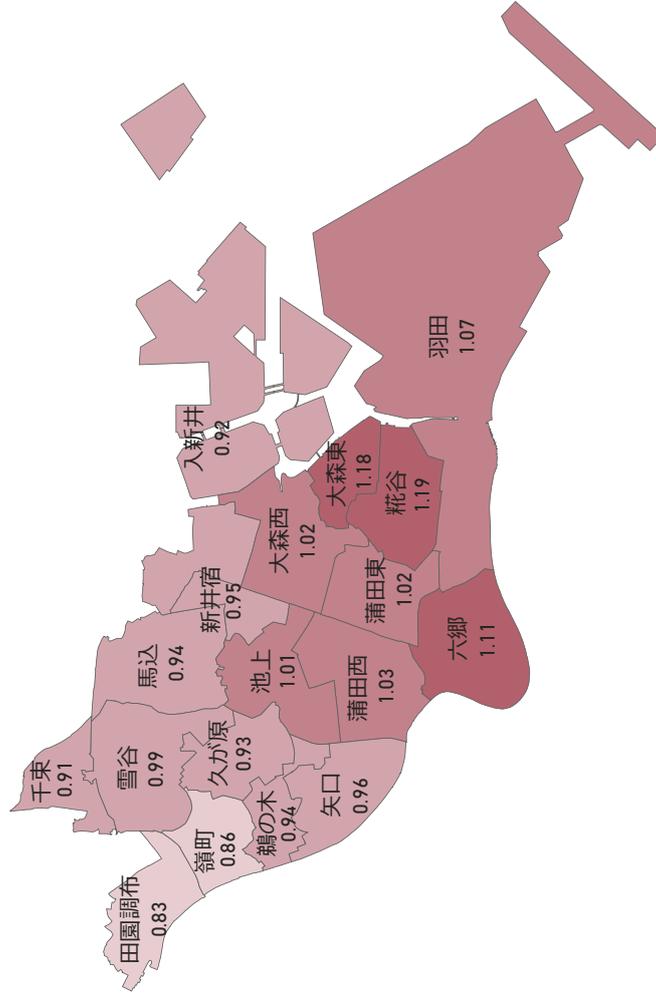
※それぞれの該当割合の偏差値（18出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値）を表示しています。
 ※偏差値が小さいほど「良好」であることを表しています。項目の詳細については、「レーダーチャート（特定健診結果）の見方」をご確認ください。
 ※レーダーチャートの表示の最大値は70としています（数値が70以上の場合でも、点の位置は70となります）。

①SMR_全死因

【男性】



【女性】



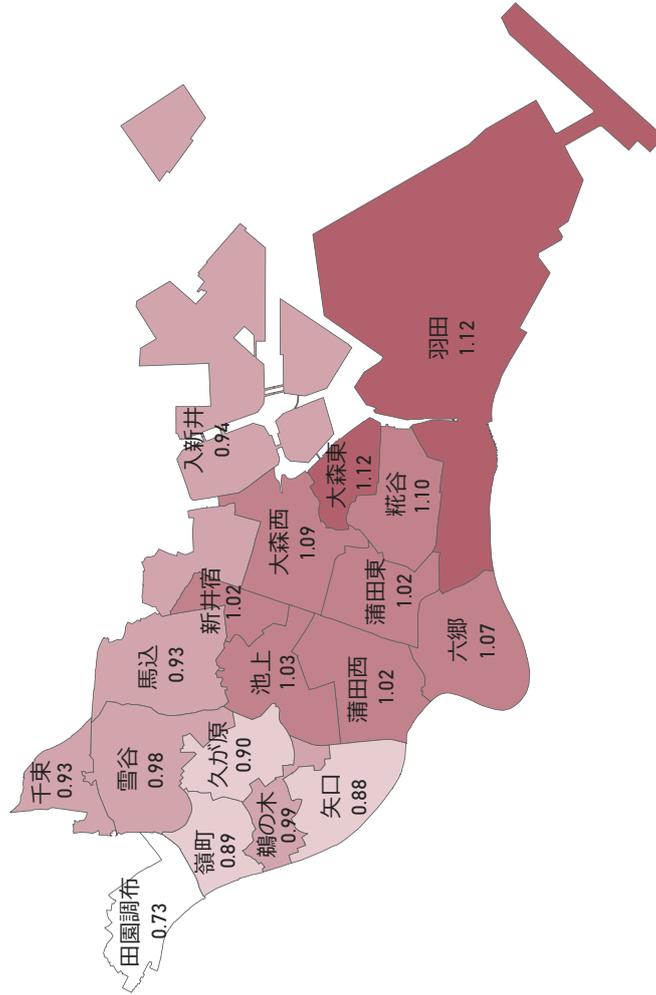
※平成27年～令和2年の6年間の標準化死亡比（SMR）。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。

【色の設定（SMR）】

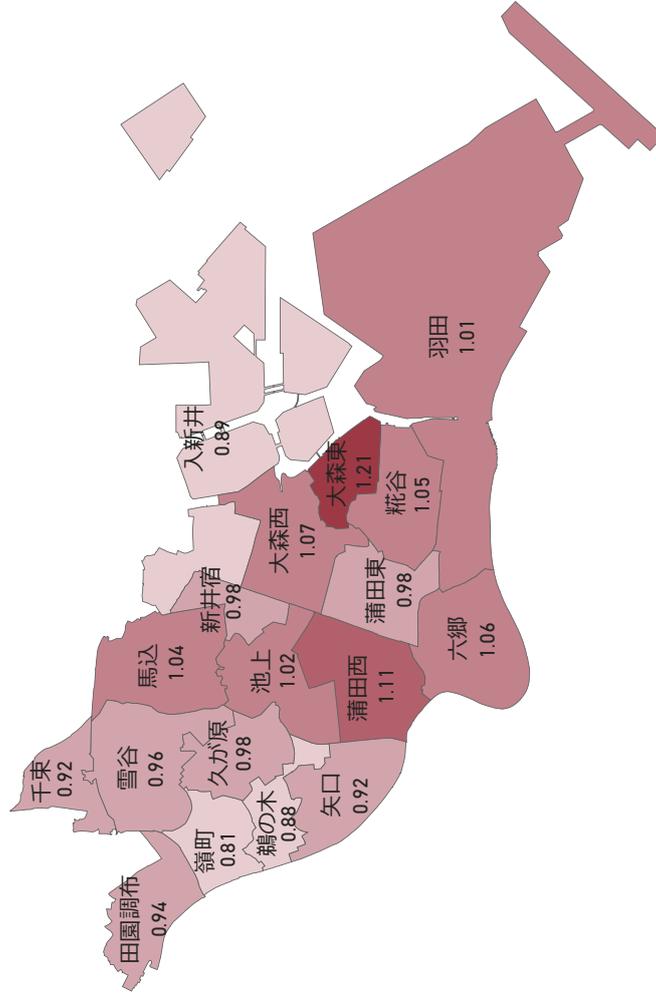


②SMR_がん

【男性】

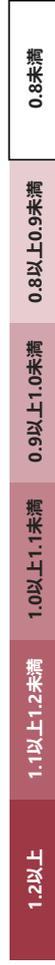


【女性】



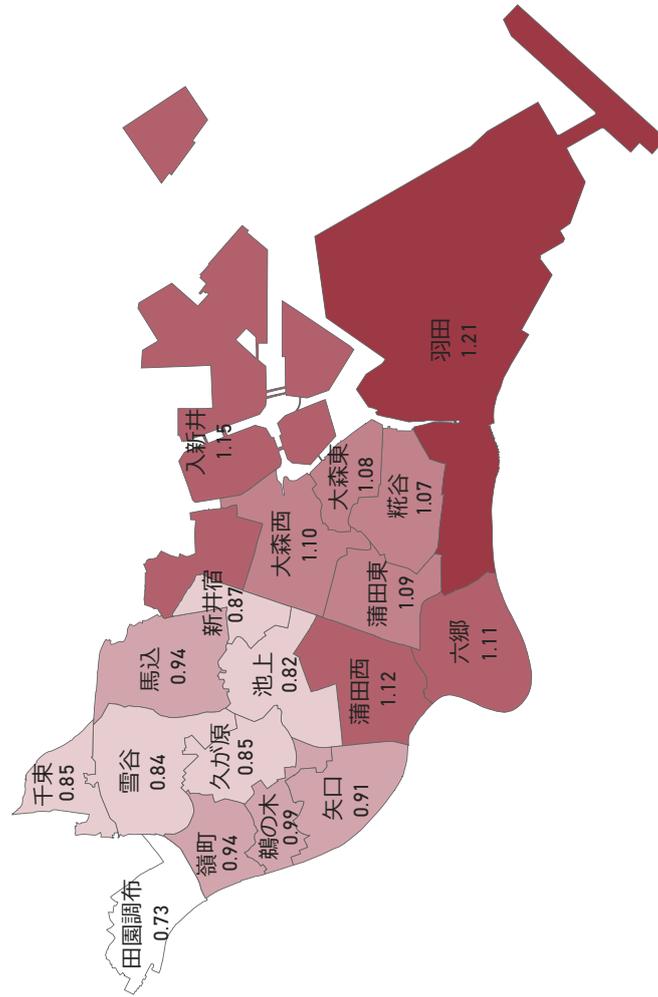
※平成27年～令和2年の6年間の標準化死亡比（SMR）。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。

【色の設定（SMR）】

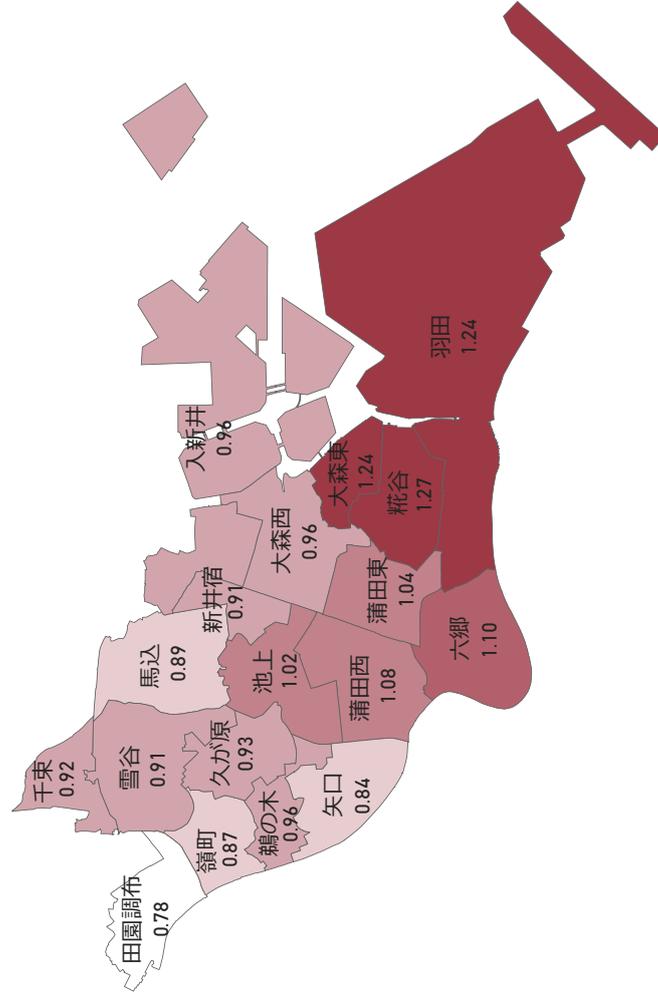


③SMR_心疾患

【男性】



【女性】



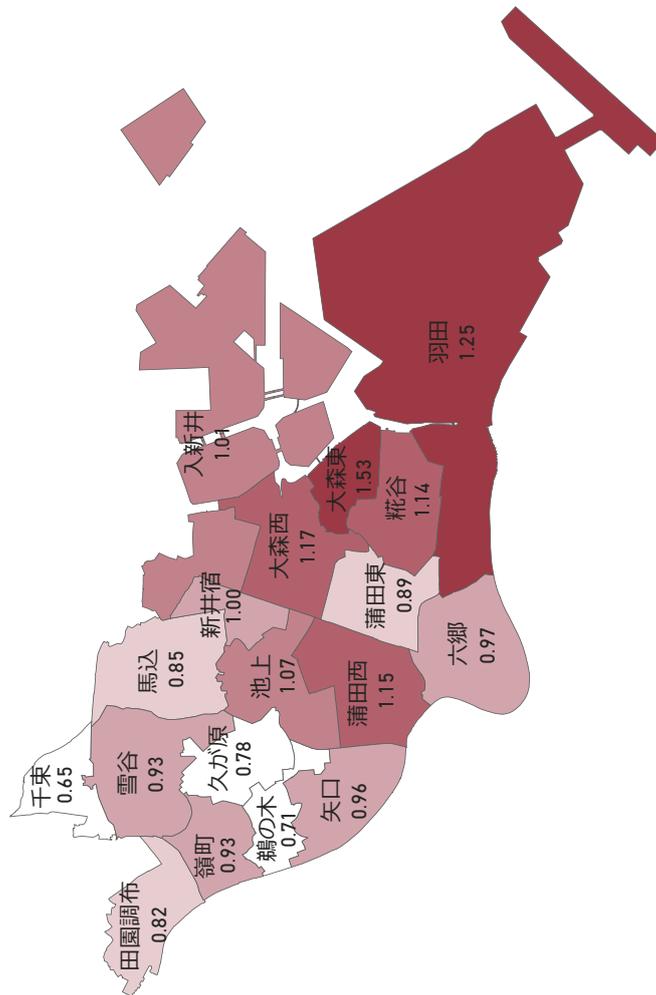
※平成27年～令和2年の6年間の標準化死亡比（SMR）。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。

【色の設定（SMR）】

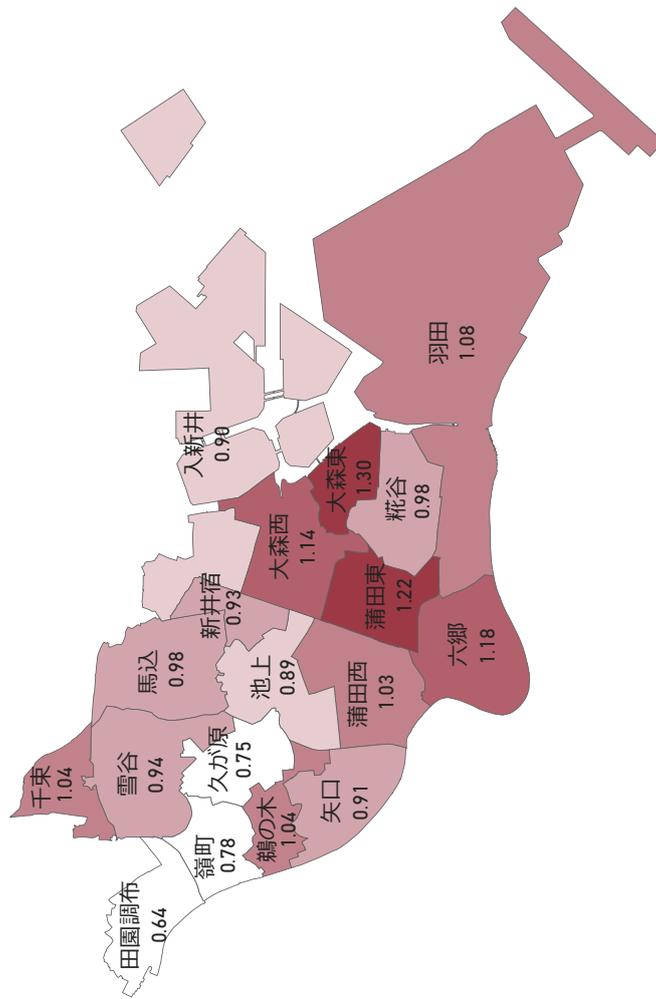


④SMR_脳血管疾患

【男性】

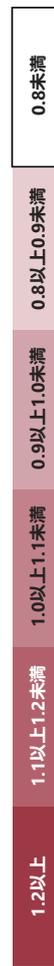


【女性】



※平成27年～令和2年の6年間の標準化死亡比（SMR）。大田区全体を基準=1とし、1以上であれば区全体と比較してその地区の死亡率が高いことを示します。

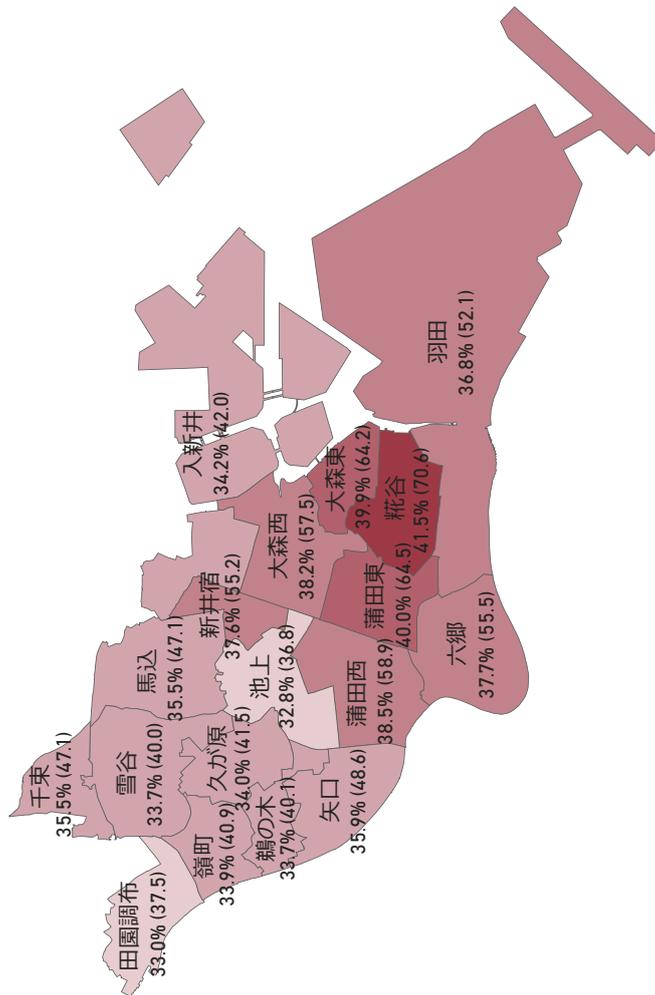
【色の設定（SMR）】



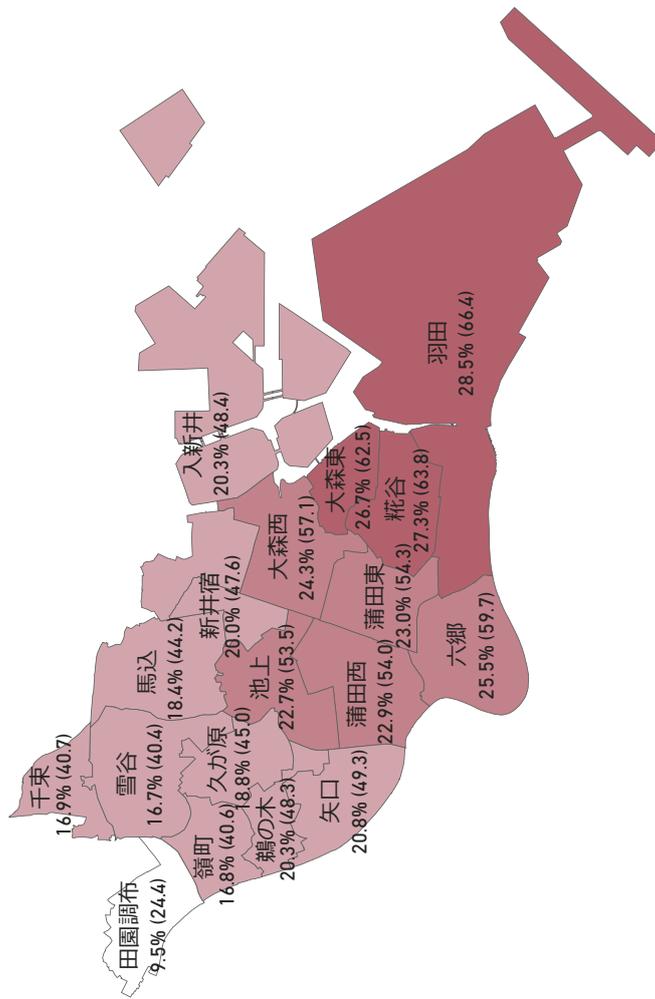
⑤肥満

BMIが25以上の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。 ※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10によるように計算した数値です。

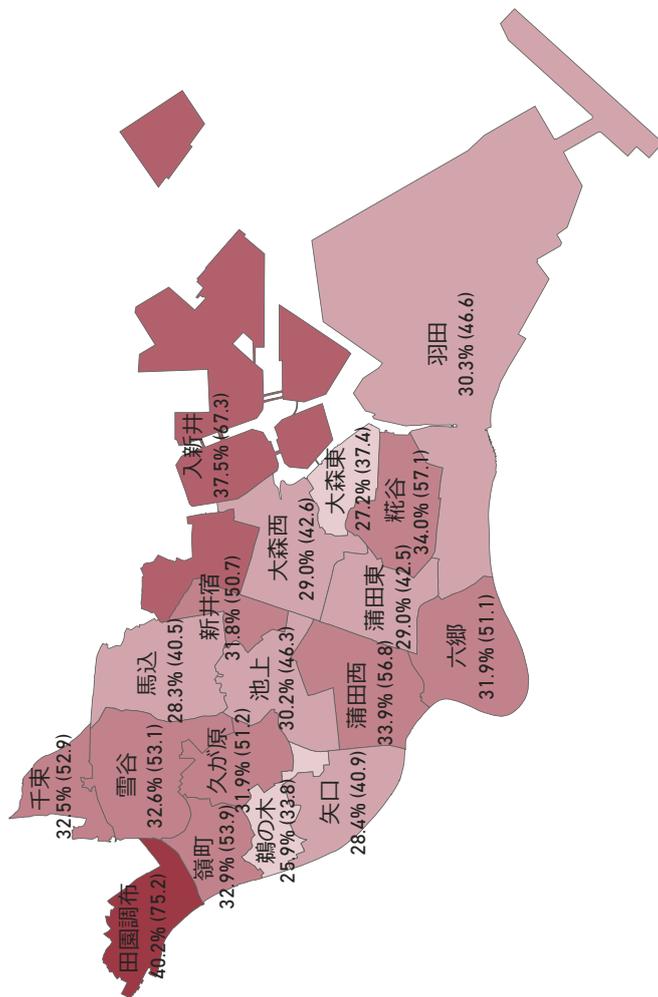
【色の設定（偏差値）】



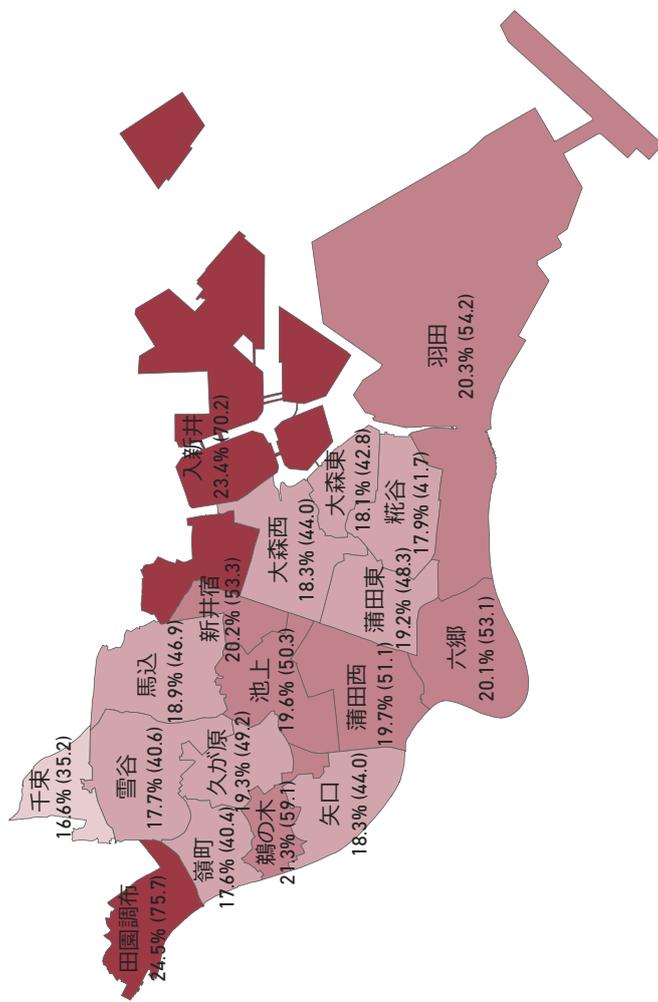
⑥空腹時血糖

空腹時血糖が「要注意（100～125mg/dl）」もしくは「要医療（126mg/dl～）」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



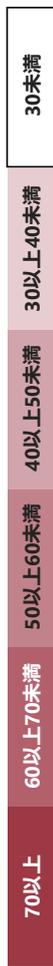
【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40～74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

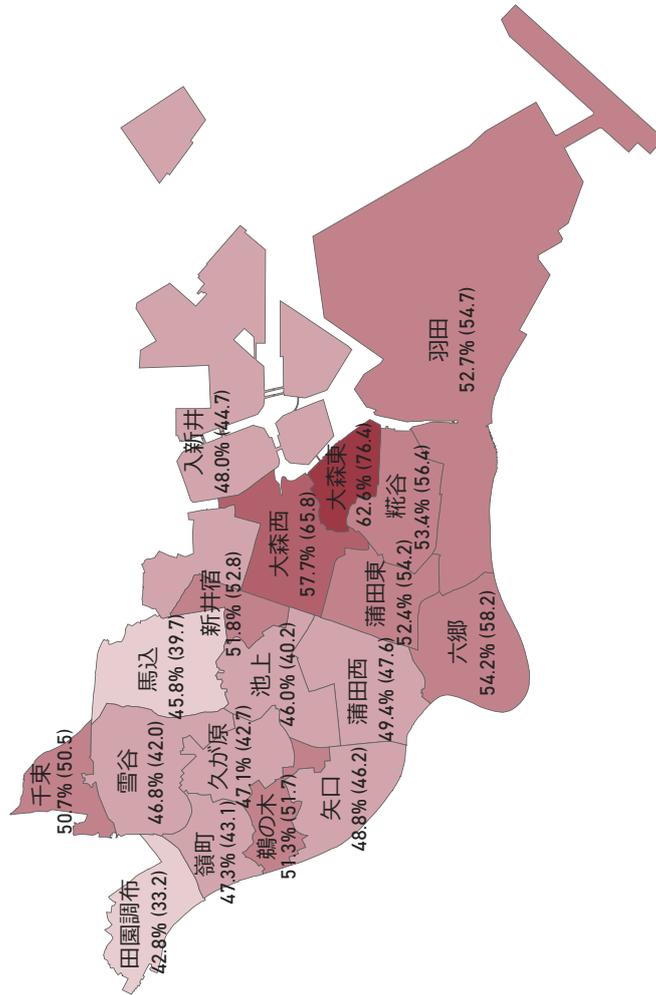
【色の設定（偏差値）】



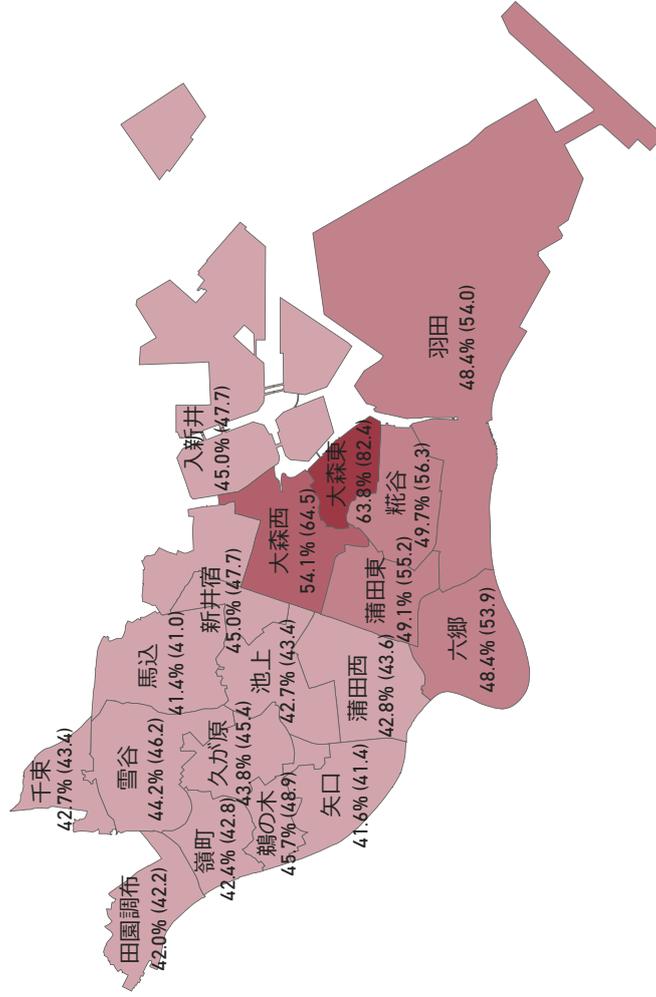
⑦HbA1c

HbA1cが「要注意（5.6～6.4%）」もしくは「要医療（6.5%～）」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40～74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

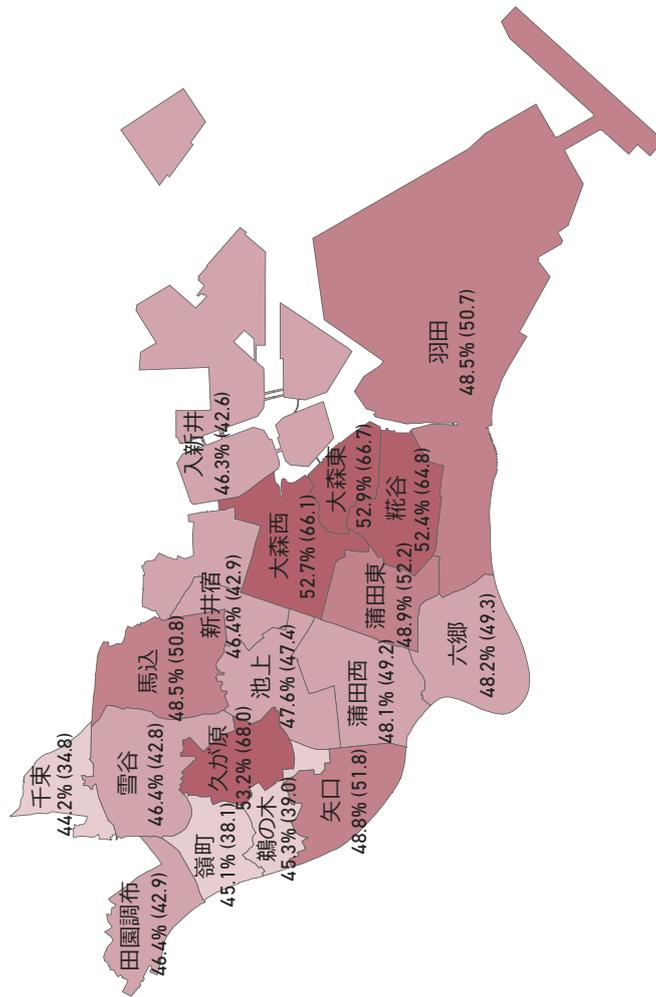
【色の設定（偏差値）】



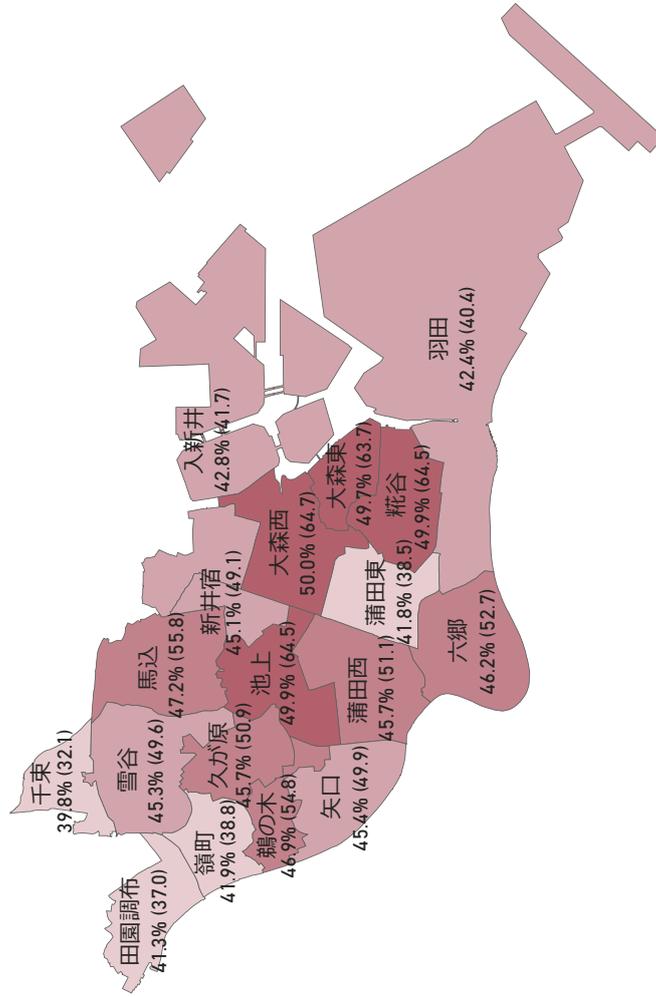
⑨ 身体活動

「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施しているか」の質問で「いいえ」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

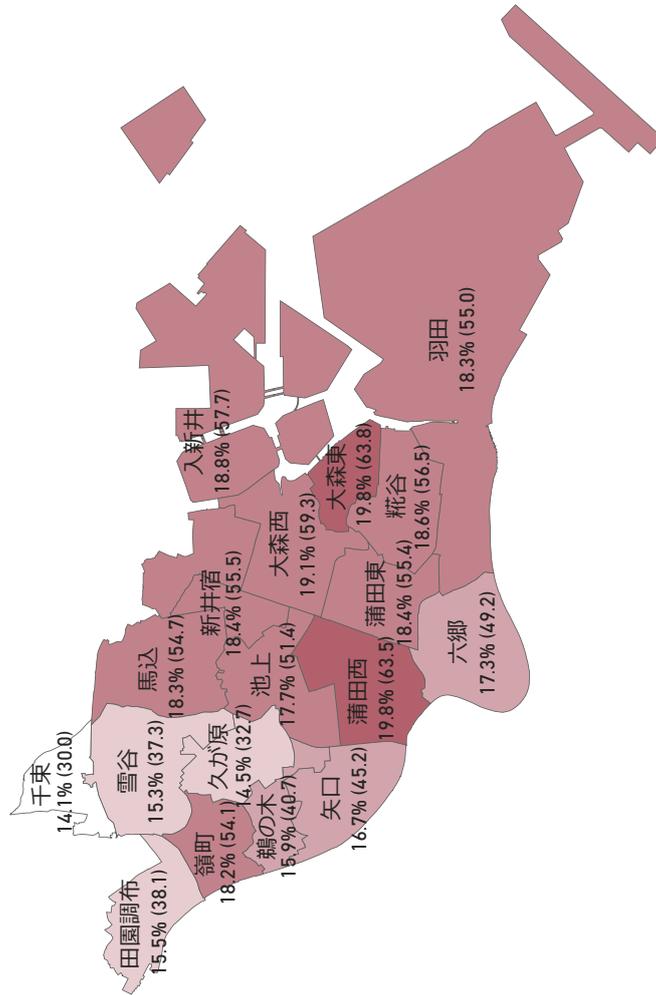
【色の設定（偏差値）】



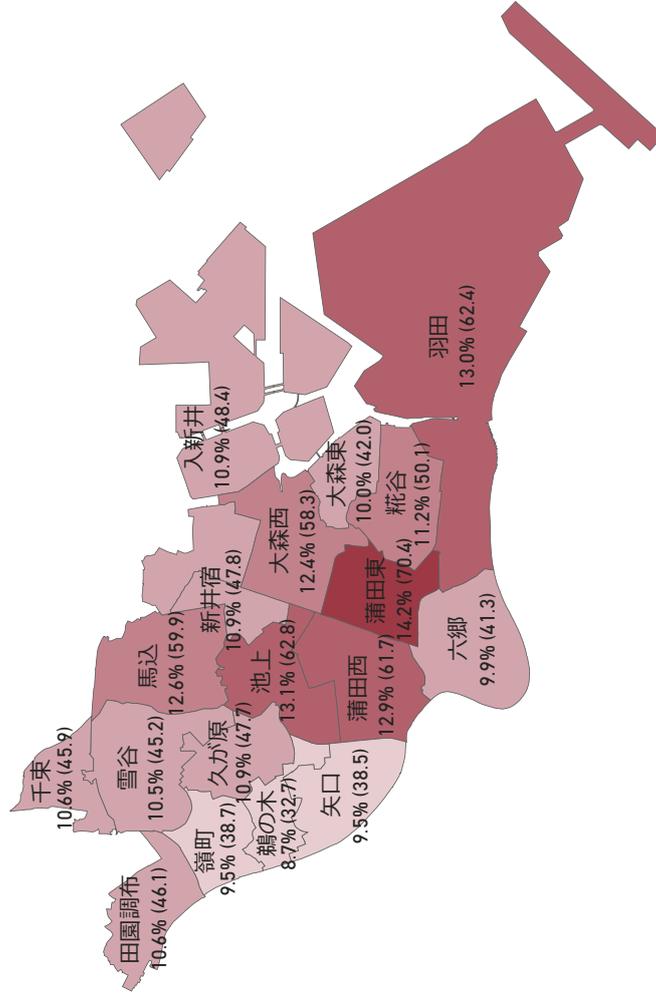
⑩朝食欠食

「朝食を抜くことが週に3回以上あるか」の質問で「はい」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

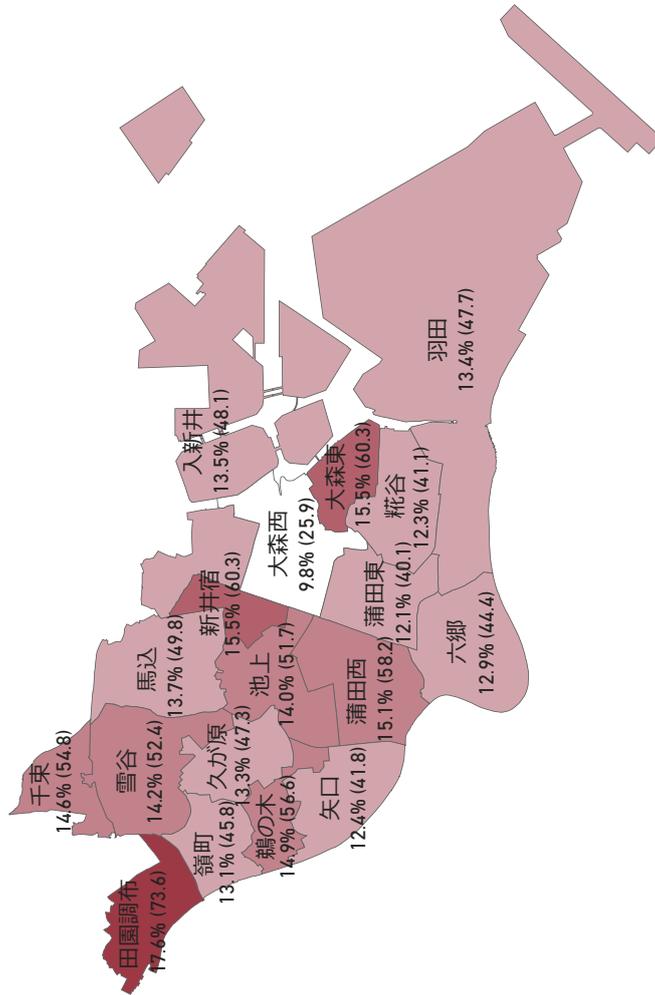
【色の設定（偏差値）】



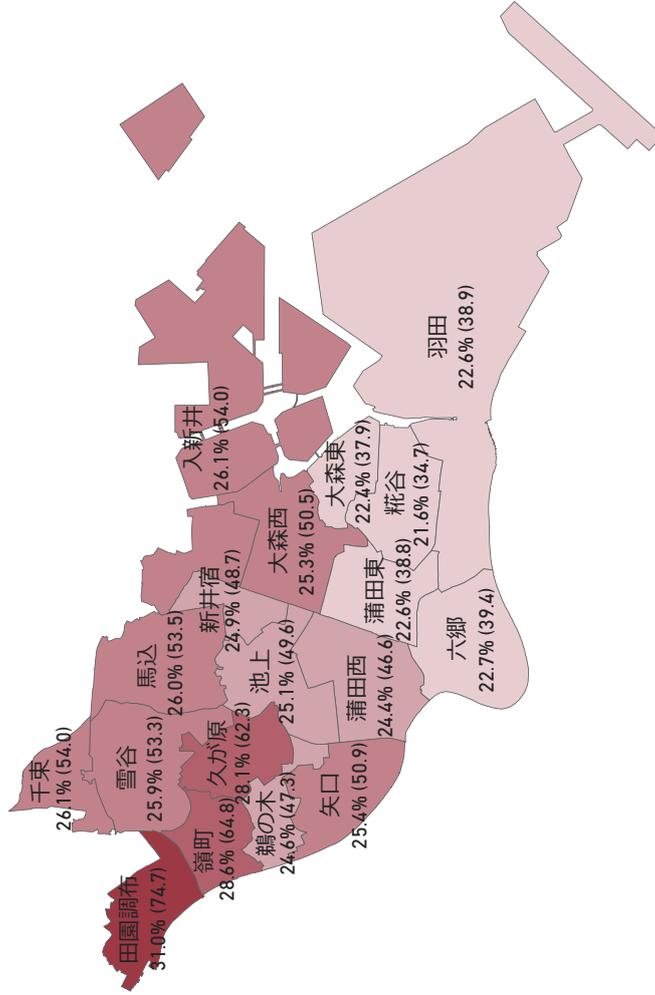
⑪間食

「3食以外に間食や甘い飲み物等を摂取するか」の質問で「毎日」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



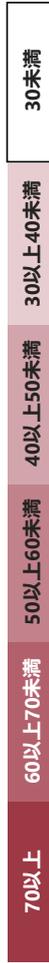
【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10によるように計算した数値です。

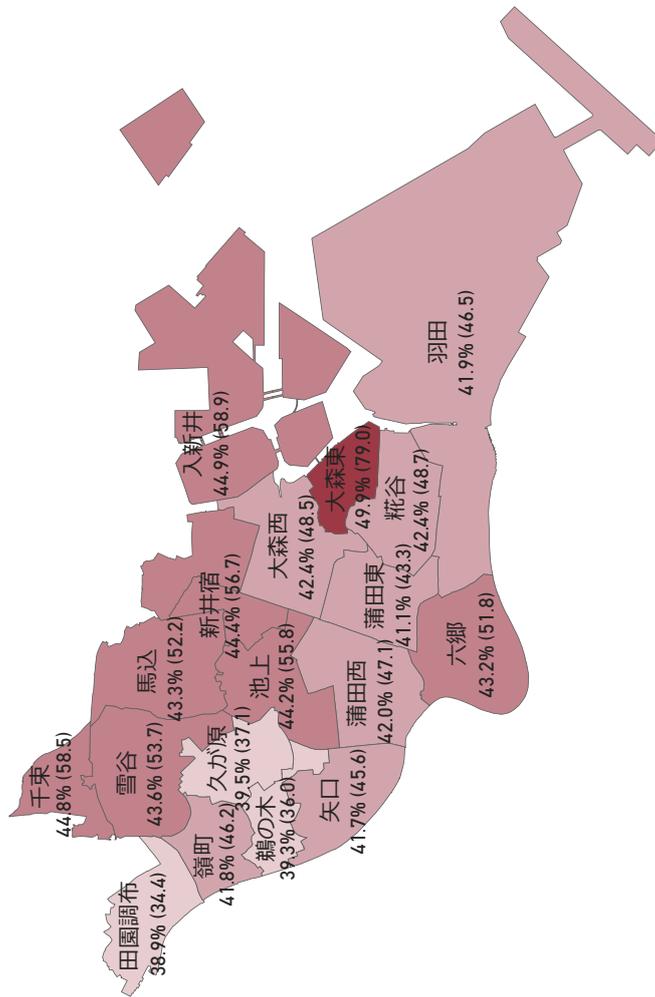
【色の設定（偏差値）】



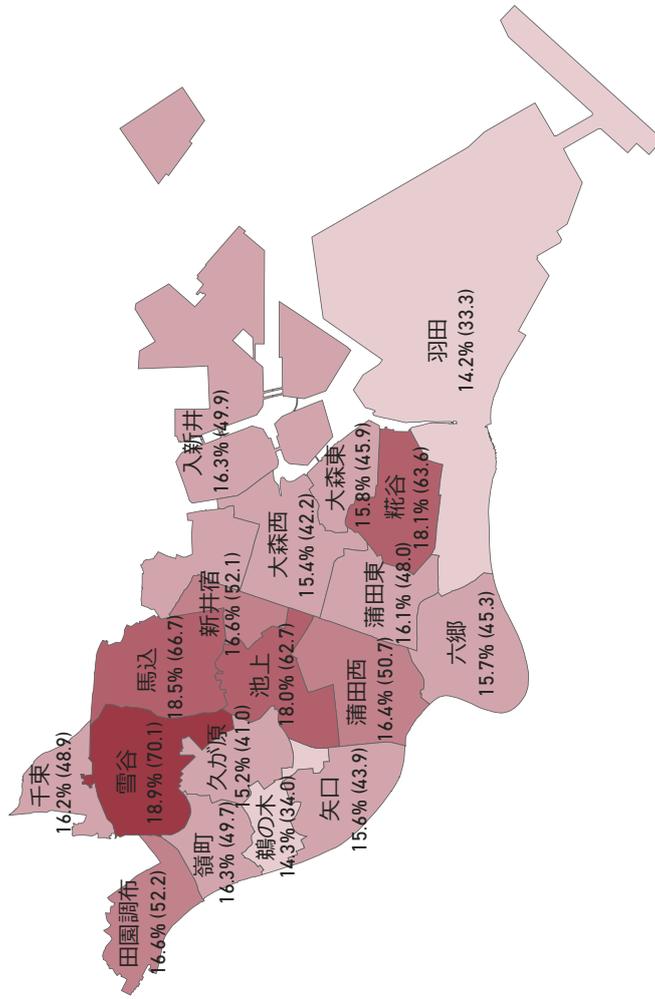
⑫ 飲酒頻度

「お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度」の質問で「毎日」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

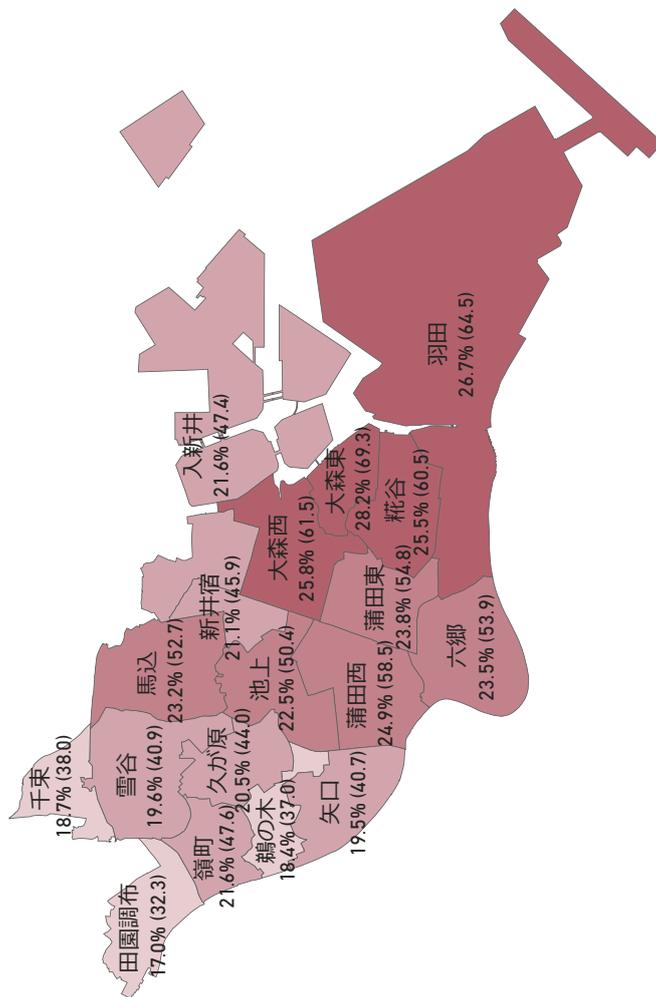
【色の設定（偏差値）】



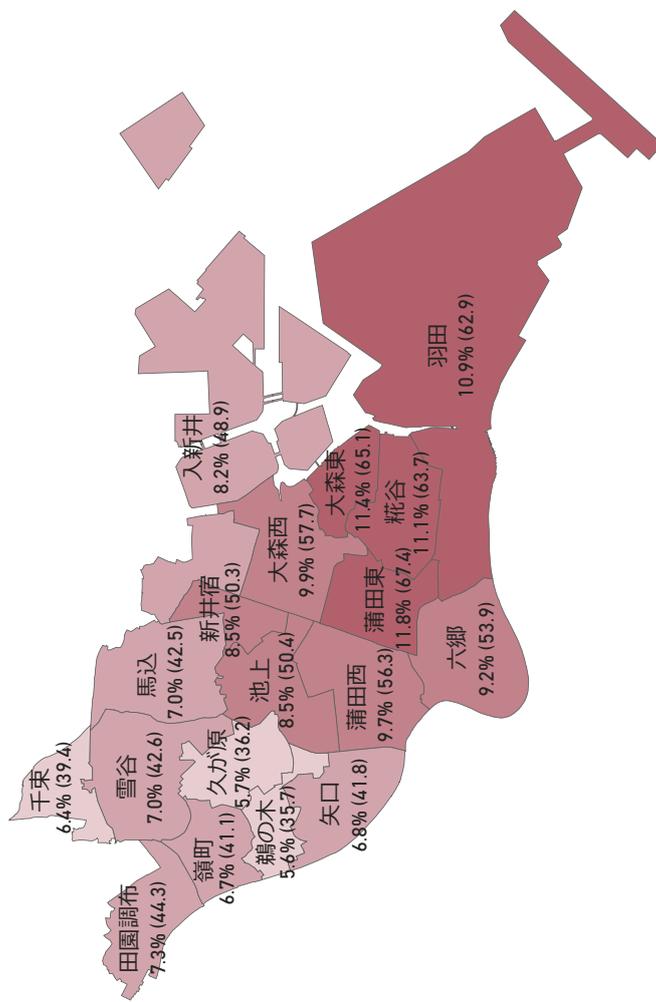
⑬喫煙

「現在、たばこを習慣的に吸っているか」の質問で「はい」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



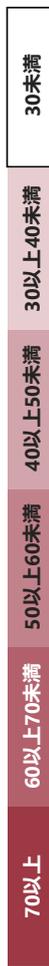
【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

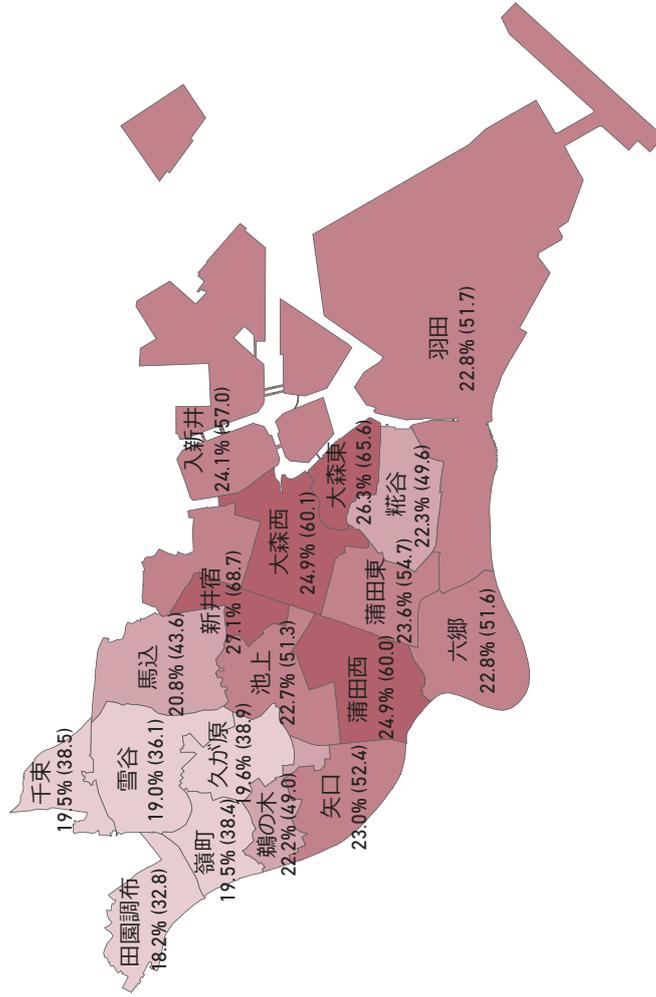
【色の設定（偏差値）】



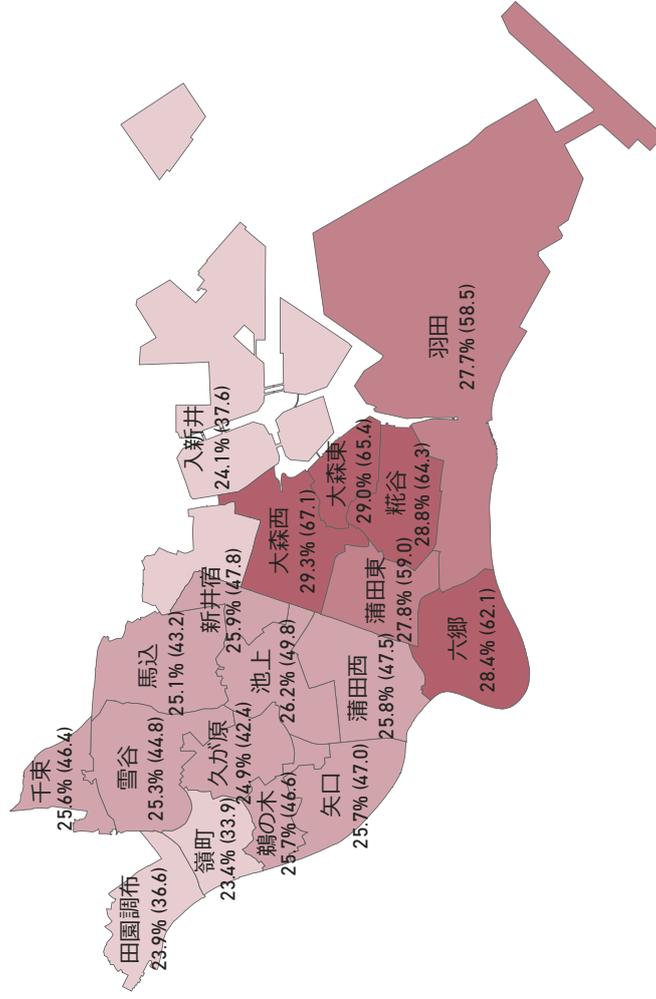
⑭睡眠

「睡眠で休養が十分とれているか」の質問で「いいえ」の割合（カッコ内は偏差値）

【男性】



【女性】



※令和2年度の国民健康保険 特定健診結果・問診結果（40-74歳の被保険者）より。

※偏差値は18特別出張所で平均値50、標準偏差10になるように計算した数値です。

【色の設定（偏差値）】

